

## 府中市福祉計画策定のための調査 障害福祉分野

### 調査結果 速報（抜粋）

## 1 障害等のある人への調査（調査1）

### （1）障害福祉サービスの利用

◎福祉サービスの利用状況・利用意向について、「希望通り利用できている」と「利用しているが希望通りではない」をあわせて利用者層は、『補装具・日常生活用具費の支給（14.4%）』が最も多く、『相談支援（14.3%）』、『日中活動系サービス（13.1%）』が続いている。

「利用したいが事業所に空きがない」と「利用したい事業所がない」、「今後利用したい」をあわせて未利用者層は、『相談支援（26.9%）』、『短期入所サービス（21.9%）』、『移動支援（20.6%）』が続いている。『訪問系サービス（20.4%）』、『居住系サービス（20.1%）』も2割を超えている。（問6）

◎障害福祉サービスの満足度は、「満足（30.2%）」と「やや満足（35.4%）」をあわせて満足層は、65.6%である。「やや不満（17.5%）」と「不満（3.9%）」をあわせて不満層は21.4%である。＜不満層＞にその理由をたずねたところ、「緊急時に利用できない（39.4%）」が最も多く、「希望通りの内容でサービスが使えない（37.2%）」、「希望する曜日・時間に使えない（36.2%）」が続いている。（問6-1、問6-2）

### （2）就労

◎「仕事はしていない（55.5%）」と「無回答3.4%」を除くと、なんらかの仕事をしている人は41.1%である。（問9）

◎仕事をするうえでの不安は、「収入が少ない（38.2%）」が最も多く、「通勤がたいへん（15.7%）」、「人間関係がうまくいかない（13.1%）」が続いている。（問9-1）

◎障害のある人が働くために希望することは、「必要なときに通院・服薬ができるなど、健康状態にあわせた働き方ができること（40.9%）」が最も多く、「自分の家の近くに働く場所があること（40.6%）」、「障害等のある人に適した仕事が開拓されること（35.5%）」が続いている。（問11）

### （3）相談・権利擁護

◎悩みや困りごとを相談できる人の有無は、「いる」84.5%、「いない」11.5%である。「いる」と回答した人に悩みや困りごとを相談した経験があるかたずねたところ、「家族・親族（85.7%）」が最も多く、「友人・知人（36.4%）」、「医師、看護師、医療相談員など（25.6%）」が続いている。市役所（保健センター等も含む）（11.5%）」、「地域生活支援センター（10.7%）」、「障害者施設・サービス提供事業所（10.6%）」、「自分と同じ状況の仲間（10.1%）」も1割を超えている。（問12、問12-1）

◎成年後見制度を利用する場合に成年後見人等にやってほしいことは、「生活・医療等に関する契約や手続き（53.3%）」が最も多く、「福祉サービスの契約や手続き（49.7%）」、「預貯金等の管理・解約（35.9%）」が続いている。（問15）

◎成年後見制度が利用しやすくなるために必要なことは、「成年後見制度を理解するための周知・啓発（40.3%）」が最も多く、「家族などの親族後見人へのサポート（38.5%）」、「成年後見制度の申立てや利用について相談や紹介をしてくれる機関（37.4%）」が続いている。（問16）

#### (4) 防災

- ◎地震や災害などの緊急時に、ひとりで避難することが「できない」と回答した人は31.3%である。(問17)
- ◎地震や災害などが起きた場合に「避難を助けてくれるような人はいない」と回答した人は10.9%である。(問18)
- ◎災害時に困ること・不安なことは、「大勢の人の中での避難所生活に不安がある(51.4%)」が最も多く、「避難所まで避難できるか心配(48.2%)」、「障害等のある人に配慮した避難所があるのか分からない(40.1%)」が続いている。(問19)

#### (5) 医療

- ◎現在受けている治療は、「定期的に通院している(71.3%)」が最も多く、その他の項目は1割に満たない。(問24)
- ◎通院などで困っていることは、「医療費や交通費の負担が大きい(21.6%)」が最も多く、「気軽に往診を頼める医師がいない(11.7%)」、「専門的な治療を行う医療機関が身近にない(11.4%)」が続いている。「特に困っていない」は49.4%である。(問24-1)

#### (6) 地域共生社会

- ◎近隣に住む人とのつきあいの程度は「道で会えばあいさつをする程度の人ならいる(34.9%)」が最も多く、「さしさわりのないことなら、話せる人がいる(19.5%)」、「全く交流はなく、近隣に住む人を知らない(12.4%)」が続いている。(問25)
- ◎地域で頼みたいことは『安否確認の声かけ(53.8%)』、『災害時避難の手助けの準備(42.6%)』、『具合がよくないときに、病院等に連絡する(41.6%)』である。(問26)
- ◎頼まれたらできることは『安否確認の声かけ(52.3%)』、『具合がよくないときに、病院等に連絡する(43.0%)』、『ちょっとした買物やゴミ出し(40.3%)』などである。(問26)
- ◎共生社会(ノーマライゼーション)は市民に十分理解されているかは、「はい」19.2%、「いいえ」64.1%である。「いいえ」と回答した人に、どのようなことがあれば「理解されている」と思うかをたずねたところ「特別な目で見ないこと(52.7%)」が最も多く、「思いやりのある声かけがあること(46.6%)」、「自分のことを理解して受け入れができること(36.4%)」が続いている。(問29、問29-1)
- ◎必要とする合理的配慮は、「困っていると思われるときは、声をかけ、手伝いの必要性を確かめてから対応する(48.6%)」が最も多く、「障害や疾病等の特性を理解し、参加するための工夫をする(27.4%)」、「ゆっくりと短いことばや文章で、わかりやすく話しかける(27.0%)」が続いている。(問30)
- ◎問31で地域の一員として、安心して自分らしい暮らしが「できていない(12.8%)」と答えた方に、その理由をたずねた。「地域の中に頼れる友人・知人がいない(60.2%)」が最も多く、「地域の中に余暇を楽しめる場所がない(32.6%)」、「地域の中に居場所がない(23.2%)」が続いている。(問31-1)

#### (7) 施策

- ◎充実を望む施策は、「各種相談事業を充実すること(42.4%)」が最も多く、「障害等のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること(39.4%)」、「ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実すること(31.2%)」が続いている。(問32)

## 2 子どもの育ちや発達に関する調査（調査2）

### （1）通園・通学の状況

◎問12で「どこにも通っていない」と「無回答」を除いたく現在、通園・通学している人（97.2%）に、通園・通学で困っていることをたずねた。「特にない（51.3%）」と「無回答（2.1%）」を除く46.6%がなんらかの理由で困っている。「通園・通学の送迎が大変（16.0%）」が最も多く、「その他（12.5%）」として、障害への理解がない、医療的ケアが必要、学区内の学校に特別支援学級がない、小学校の時の子どもの状況などが中学校へひきつがれていない、などの記述があった。（問1-1）

### （2）福祉サービスの利用

◎福祉サービスの利用状況・利用意向について、「希望通り利用できている」と「利用しているが希望通りではない」をあわせたく利用者層は、『放課後等デイサービス（49.5%）』が最も多く、『児童発達支援（28.9%）』、『補装具費の支給・日常生活用具費の給付（13.5%）』、『子ども発達支援センターあゆの子外来グループ（12.5%）』が続いている。

「利用したいが事業所に空きがない」と「利用したい事業所がない」、「今後利用したい」をあわせたく未利用者層は、『日中一時支援（35.8%）』、『移動支援（30.8%）』、『放課後等デイサービス（30.6%）』が続いている。『短期入所（ショートステイ）（28.2%）』、『児童発達支援（24.8%）』、『障害児相談支援（23.4%）』、『医療型児童発達支援（22.1%）』、『行動援護（20.8%）』も2割を超えている。（問6）

◎福祉サービスの満足度は、「満足（24.2%）」と「やや満足（36.0%）」をあわせたく満足層は、60.2%である。「やや不満（26.7%）」と「不満（5.9%）」をあわせたく不満層は32.6%である。（問6-1）

◎く不満層にその理由をたずねたところ、「希望する事業者や施設が見つからない（43.9%）」が最も多く、「緊急時に利用できない（40.9%）」、「サービスの情報が入手しにくい（41.5%）」が続いている。（問6-1、問6-2）

### （3）育ちや発達の状況

◎お子さんの育ちや発達について初めて気になった時期は、「0歳～2歳（69.5%）」が最も多く、「3歳～就学前（20.7%）」が続いている。約9割が就学前に不安や疑問を感じている。（問7）

◎「どこにも相談していない」と「無回答」を除いたくどこ（誰）かに相談したことがある人は98.9%である。「家族・親族（75.4%）」が最も多く、「保育園・幼稚園・学校（57.8%）」、「医療機関（東京都立の療育機関（43.2%）」、「お子さんと同じ状況の子どもがいる人（43.2%）」などが続いている。「友人・知人」、「子ども発達支援センターあゆの子」、「東京都立の療育機関」、「市役所（保健センター等も含む）も4割を超えている。（問8）

◎くどこ（誰）かに相談したことがある人に相談の効果をつたねたところ、「具体的な対応方法を考えることができた（64.4%）」が最も多く、「適切な相談機関・医療機関を紹介してもらった（56.1%）」、「話を聞いてもらって気持ちが楽になった（53.1%）」が続いている。「支援を受けて子どもが成長した（53.0%）」、「同じ悩みを持つ保護者と知り合い、共感することができた（50.2%）」も5割を超えている。（問8-1）

◎お子さんの育ちや発達に関する医療機関による診断の有無（問9）は、「診断を受けた」90.3%、「診断を受けていない」7.2%となっている。

◎ライフステージに応じた支援として希望することは、「お子さんに関わる教育、保健、医療、福祉など関係機関の連携が強化されること（69.1%）」が最も多く、「乳幼児期から高等学校・特別支援学校高等部卒業まで一貫して相談・支援を受け続けられること（68.7%）」、「入学・進学な

どのタイミングで、お子さんへの支援情報が途切れないこと（68.7%）」が続いている。「入学・進学などのタイミングに合わせて、関係する支援機関の紹介を受けられること（64.7%）」、「子どものライフステージに合わせた保護者支援が行われること（62.8%）」、「不安なことなどがあつたときに支援機関へとつないでくれる専門の職員がいること（61.1%）」も6割を超えている。（問11）

#### （4）防災

◎災害時に困ること・不安なことは、「大勢の人の中での避難所生活に不安がある（67.7%）」が最も多く、「障害等のある人に配慮した避難所があるのか分からない（55.0%）」、「お子さんのことを人に伝えて、うまく支援を受けられるか不安（44.1%）」、「避難所まで避難できるか心配（40.9%）」が続いている。（問13）

#### （5）医療・医療的ケア

◎問17で、現在何らかの医療的ケアを「必要としている（24.9%）」と回答した人が受けている医療・医療的ケアは、「服薬管理（75.9%）」が最も多く、「痰などの吸引（16.7%）」、「経管栄養（16.0%）」、「ネブライザー（15.4%）」が続いている。

◎医療・医療的ケアの困りごとは、「成人後に受診できる医療機関があるか不安（32.1%）」が最も多く、「通院などの移動がたいへん（31.5%）」、「家族への支援が少ない（22.2%）」、「緊急時・急変時の対応が難しい（21.6%）」が続いている。（問17-1、問17-2）

#### （6）地域・共生社会

◎共生社会（ノーマライゼーション）の理解についてたずねたところ、「はい」11.2%、「いいえ」87.6%である。「いいえ」と回答した人に、どのようなことがあればお子さんが理解されていると思うかたずねたところ、「お子さんのことを理解して受け入れができること（64.7%）」が最も多く、「お子さんを特別な目で見ないこと（45.3%）」、「お子さんが大きな声を出したり動き回っても、嫌な顔をされないこと（45.3%）」が続いている。（問18、問18-1）

◎必要とする合理的配慮（問19）は、「お子さんや主たる養育者の方が困っていると思われるときは、声をかけ、手伝いの必要性を確かめてから対応する（54.2%）」が最も多く、「お子さんの疲労や緊張などに配慮し別室や休憩スペースを設ける（51.6%）」、「ゆっくりと短いことばや文章で、わかりやすく話しかける（51.3%）」、「障害や疾病等の特性を理解し、参加するための工夫をする（50.5%）」が続いている。

#### （7）施策

◎充実を望む施策は、「ライフステージに合わせた、切れ目のない支援をすること（58.7%）」が最も多く、「障害等のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること（57.1%）」、「障害等のある人や育ちや発達が気になるお子さんが受診しやすい医療体制を充実すること（41.2%）」、「利用できる通所施設を整備すること（40.7%）」が続いている。（問22）

#### （8）保護者の状況

◎養育の負担感やストレスを軽減させるために重要と考えることは、「お子さんが将来、主に養育している人の手を離れても生活できるという見通しを持てること（59.6%）」が最も多く、「療育や教育の体制を充実すること（37.3%）」、「日中、一時的にお子さんを預かってくれるサービス（26.9%）」、「お子さんの世話のために生じる経済的な負担が軽減されること（26.9%）」が続いている。（問30）

### 3 障害者福祉関連団体調査（調査3）

#### （1）団体の概要

- ◎会員数の平均は54.8人、運営に携わっている人数の平均は7.6人である。（問2）
- ◎活動拠点が「決まっている」は88.9%で、府中市市民文化センター、府中市市民活動センタープラッツ、府中市ふれあい会館などである。（問3、問3-1）
- ◎運営にかかる経費の収入源として最も多いものは「会員からの会費（75.0%）」、2番目に多いものは「市からの補助金（62.5%）」である。（問4）
- ◎活動する上で困っていることは、「後継者問題（87.5%）」が最も多く、「財政的支援（50.0%）」、「活動場所の確保（37.5%）」、「社会の認識（37.5%）」、「人的支援（37.5%）」が続いている。（問6）

#### （2）相談支援体制

- ◎市の相談体制に望むことについて、自由記述形式でたずねた。当事者による相談、24時間・休日も緊急時に対応できること、専門性、他分野との連携、生涯を通じた切れ目のない相談、一般市民の精神保健の相談窓口の充実、などの趣旨の記述があった。（問7）

#### （3）災害時の支援

- ◎災害時に障害等のある人々が安心して過ごせるための支援として必要なことを、自由記述形式でたずねた。資格を持った障害者対応担当者の確保、避難行動や、避難所生活における生活支援や情報伝達のあり方、福祉避難所の開設、災害時要援護者の把握・安否確認と救出体制、などの趣旨の記述があった。（問8）

#### （4）制度の谷間にある支援

- ◎障害者福祉制度の谷間にある方々への支援として必要なことを、自由記述形式でたずねた。人的支援対応の柔軟な運用、一番困っていて助けてほしいことの把握、加算措置による対応、制度の仕組みや利用できる事業所の紹介、個々の相談に丁寧に対応する、などの趣旨の記述があった。（問9）

#### （5）地域共生社会づくりに向けた協力意向

- ◎地域共生社会の実現に向けて、団体として協力できることを、自由記述形式でたずねた。学習会や講演会などを通しての啓発、悩み事の傾聴、社協のわがまち協議会への参加、市とのコミュニケーションの強化、などの趣旨の記述があった。（問11）

#### （6）障害福祉施策

- ◎障害等のある人への合理的配慮として特に必要だと思うことを、自由記述形式でたずねた。障害に対する理解促進、講演会での情報保障、設備の充実、インクルーシブ教育、障害者と同じ立場に立ち一緒に解決策を考える、その人のよいところを認めて努力している面を高く評価して受け入れる、などの趣旨の記述があった。（問12）
- ◎バリアフリー施策に関する期待を、自由記述形式でたずねた。バリアフリーに特化するのではなく当たり前のこととして立案する、障害者だけでなく自転車や子ども連れの歩行者などにも配慮した道路整備、職場では本人の希望があり能力が同じであれば同じ待遇にすべき、などの趣旨の記述があった。（問13）

## 4 障害福祉サービス事業所調査（調査4）

### （1）事業所の概要

- ◎組織形態は、「株式会社（31.2%）」が最も多く、「社会福祉法人（26.9%）」、「NPO（20.4%）」が続いている。（問1（2）①）
- ◎必要性を感じているが実施していない事業のうち、最も必要性を感じている事業は「同行援護（7.5%）」が最も多く、「グループホーム（7.0%）」、「生活介護（6.0%）」、「計画相談支援（6.0%）」が続いている。（問1（4）①）
- ◎実施していない理由として近いものは、「人材の確保・育成が難しいため（61.2%）」、「サービスに見合う収益が見込めないため（36.3%）」、「初期負担の投資金額が大きいため（26.4%）」が続いている。（問1（4）②）

### （2）今後の事業運営

- ◎昨年度の事業の採算は、事業所では「黒字（29.9%）」、「赤字（40.7%）」、「損益はない（18.9%）」である。法人では「黒字（28.9%）」、「赤字（39.3%）」、「損益はない（19.9%）」である。事業所、法人ともに同様の傾向を示している。（問4）
- ◎サービスを実施する上での問題は、事業所、法人ともに「人材の確保が難しい（事業所85.8%、法人80.4%）」が最も多く、「専門職の確保が難しい（事業所59.8%、法人46.4%）」、「報酬が実態にそぐわない（事業所57.5% 法人50.0%）」が上位3位を占めている。（問6）
- ◎今後5年のうちに対象となっている事業規模を拡大する予定があるかたずねたところ、「拡大予定」14.9%、「現状維持」50.7%、「縮小予定」2.5%、「検討中・分からない」26.9%となっている。

### （3）利用者本位のしくみ

- ◎サービスの向上を図るための第三者評価の実施状況は、「実施した、実施している（26.9%）」と「実施していないが実施の予定（15.9%）」をあわせて＜実施＞は42.8%である。「実施の予定はない（55.2%）」と回答した事業所にその理由をたずねたところ、「費用がかかりすぎる（34.2%）」、「メリットが分からない（22.5%）」となっている。「その他（40.6%）」の理由として、会社として実施していない、利用者が少ない、設立後間もない、利用者へ直接アンケートを実施している、などがあがっている。（問12、問12-1）

### （4）地域共生社会づくりに向けた協力意向

- ◎災害時に事業所として協力できることは、「在宅サービス利用者への安否確認（57.2%）」が最も多く、「在宅の災害時用援護者の避難支援への協力（22.4%）」、「施設を福祉避難所として活用することへの協力（20.9%）」が続いている。（問17）

### （5）市への要望

- ◎府中市の障害福祉サービスの充実に向けて、どのようなことが必要だと思うかたずねたところ、事業所は「緊急時・災害時に障害者を支援する体制の整備（70.8%）」が最も多く、「人材確保のための取り組み（70.0%）」、「専門職の育成、確保のための各種支援策（60.8%）」が続いている。法人は「人材確保のための取り組み（78.4%）」が最も多く、「障害等のある人とその家族が安心して暮らせるための相談体制（54.1%）」、「障害者福祉と保健・医療との連携（48.6%）」が続いている。（問20）

# 府中市福祉計画策定のための調査 障害福祉分野

## 調査概要・回収結果

### 1 調査目的

本調査は、障害者福祉に関する意見や要望を把握することにより、府中市福祉計画（障害者計画）の策定のための基礎資料を得ることを目的とする。

### 2 実施概要

本調査では次の4種類のアンケートを行った。

区分	調査名	対象者	サンプリング	調査方法	調査時期
調査1	障害等のある人への調査	市内の18歳以上の障害者手帳所持者、自立支援医療受給者証所持者、特定医療費受給者証所持者 【配布数】 2,300人 【内訳】 ①身体障害者 1,216人 ②知的障害者 334人 ③精神障害者 325人 ④自立支援医療受給者 100人 ⑤難病患者 325人	①市内に居住する18歳以上の身体障害者手帳所持者を無作為抽出 ②市内に居住する18歳以上の愛の手帳所持者より無作為抽出 ③市内に居住する18歳以上の精神障害者保健福祉手帳所持者より無作為抽出 ④市内に居住する18歳以上の自立支援医療受給者証所持者より無作為抽出 ⑤市内に居住する18歳以上の特定医療費受給者証所持者より無作為抽出	郵送配布・回収（督促礼状1回）	令和元年 10月25日 ～ 11月11日
調査2	子どもの育ちや発達に関する調査	市内の18歳未満の障害者手帳所持者、特定医療費受給者証所持者、障害児通所給付費受給者証所持者の保護者 【配布数】 1,000人 【内訳】 ①身体障害児 125人 ②知的障害児 494人 ③精神障害児 62人 ④難病患者 9人 ⑤児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証所持者 310人	①市内に居住する18歳未満の身体障害者手帳所持者 ②市内に居住する18歳未満の愛の手帳所持者 ③市内に居住する18歳未満の精神障害者保健福祉手帳所持者 ④市内に居住する18歳未満の特定医療費受給者証所持者 ⑤市内に居住する18歳未満の児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証所持者より無作為抽出	郵送配布・回収（督促礼状1回）	
調査3	障害者福祉関連団体調査	市内の障害者福祉団体 11団体	市内の障害者福祉団体（当事者団体・家族会）	郵送配布・回収（督促礼状1回）	
調査4	障害福祉サービス事業所調査	市内の障害福祉サービス事業所 296事業所	市内の障害福祉サービス事業所	郵送配布・回収（督促礼状1回）	

### 3 回収数（率）

区分	調査名	発送数	回収数 (回収率)	有効回収数 (有効回収率)
調査1	障害等のある人への調査 身体障害者	2,300	1,423 (61.9%)	1,419 (61.7%)
調査2	子どもの育ちや発達に関する調査	1,000	651 (65.1%)	651 (65.1%)
調査3	障害者福祉関連団体調査	11	8 (72.7%)	8 (72.7%)
調査4	障害福祉サービス事業所調査	295	204 (69.2%)	201 (68.1%)

(参考) 平成 25 年度調査の回収数（率）

区分	調査名	発送数	回収数 (回収率)	有効回収数 (有効回収率)
調査1	身体障害者	2,000	1,401 (70.1%)	1,394 (69.7%)
	障害のある 人の調査 知的障害者	500	311 (62.2%)	311 (62.2%)
	精神障害者	400	253 (63.3%)	253 (63.3%)
調査2	難病のある人の調査	300	228 (76.0%)	228 (76.0%)
調査3	障害者福祉関連団体調査	11	9 (81.8%)	9 (81.8%)
調査4	障害福祉サービス事業所調査	40	29 (72.5%)	29 (72.5%)



## 4 調査項目

### (1) 調査1 障害等のある人への調査

【凡例】

・前回調査:障 障害のある人の調査  
 難 難病患者調査

調査項目	問番号	設問	前回調査 問番号
A 基本属性	F1	記入者	障・難:F1
	F2	(1)性別、(2)年齢	障・難:F2
	F3	居住地域	障・難:F3
	F4	同居者	障・難:F4
	F5	所持する手帳(手帳の程度)、自立支援医療の受給の有無 および特定医療費受給者証を受給している対象の疾病	障・難:F5
	F6	身体障害者手帳に記載された項目	障・難:F6
	F7	障害・難病が生じた時期	障・難:F7
	F8	(1)収入源、(2)年収	新規/障・難:F8
B 住まい	問1	住居形態	障・難:問1
	問2	住居について困っていること(1)設計・設備、(2)住宅事情	障・難:問2
	問3	住居の困りごとに対して希望する支援	新規
C 日常生活	問4	日常生活の状況(ADL等)(1)~(11)	障・難:問3
	問5	介助の状況	障・難:問4
	問5-1	(1)介助を頼める人、(2)主な介助者	新規
	問5-2	公的サービスによる介助の頻度	障・難:問4-2
	問5-3	家族等介助の頻度	障・難:問4-1
D 障害福祉サービスの利用	問6	障害福祉サービスの利用状況、利用意向(1)~(8)	障:問5・難:問8
	問6-1	障害福祉サービスの満足度	新規
	問6-2	サービスの不満な理由	新規
E 日ごろの活動	問7	外出の頻度	障:問6,7・難:問5,6
	問8	市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度	新規
	問8-1	不満な理由(バリア等)	障:問8・難:問7
F 就労	問9	現在の仕事	障・難:問9
	問9-1	仕事上の不安	障・難:問9-3
	問9-2	仕事をしていない理由	障・難:問9-4
	問10	今後したい仕事	障・難:問10
	問11	障害のある人が働くために希望すること	障・難:問11
G 相談・権利擁護	問12	相談できる人の有無	問14
	問12-1	相談先	問14-1
	問13	市内の相談機関等の認知度・利用状況(1)~(4)	障:問15
	問14	市内の相談機関等に求めること	新規
	問15	後見人等にやってほしいこと	新規
	問16	成年後見制度を利用しやすくするために必要なこと	新規
H 防災	問17	緊急時の単独避難	障:問16・難:問15
	問18	具体的な援助者	障:問16-2 ・難:問15-
	問19	災害時の不安や心配ごと	障:問17・難:問16
	問20	避難場所で希望する配慮	新規
	問21	災害時に協働で進める地域の支え合い	障:問18・難:問17
	問22	災害対策としてふだんから行っていること	障:問19・難:問18
I 医療	問23	入院経験の有無	新規
	問23-1	退院するにあたっての困りごと	新規
	問24	現在受けている医療	障:問23・難:問22
	問24-1	通院での困りごと	障:問23-2 ・難:問22-2

調査項目	問番号	設問	前回調査 問番号
J 地域・共生社会	問 25	近所づきあいの現状	障・難:問 12
	問 26	(1)~(8)の項目について ①地域で頼みたいこと、②頼まれたらできること	新規
	問 27	地域活動への参加程度	障・難:問 13
	問 27-1	参加している地域活動の種類	障・難:問 13-1
	問 27-2	参加しない理由	新規
	問 28	今後参加したい、継続して参加したい地域活動	新規
	問 29	市民のノーマライゼーションの理解	障:問 24・難:問 23
	問 29-1	どのようなことがあれば理解されていると思うか	変更 障:問 24-1 ・難:問 23-1
	問 30	必要とする合理的配慮	新規
	問 31	地域の一員として安心して自分らしい暮らしができているか	新規
	問 31-1	自分らしい暮らしができていない理由	新規
K 施策	問 32	充実を望む施策	障:問 26・難:問 25
	問 33	市への要望<自由回答>	障:問 27・難:問 26

## (2) 調査2 子どもの育ちや発達に関する調査

### ① 調査項目一覧

調査項目	問番号	設問	備考
A 基本属性	F1	記入者	
	F2	居住地域	
	F3	宛名のお子さんの(1)性別、(2)年齢	
	F4	宛名のお子さんが所持する手帳(手帳の程度)、特定医療費受給者証の有無(対象疾病)、児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証(利用中のサービス)	
	F5	身体障害者手帳に記載された項目	
	F6	宛名のお子さんに障害・難病が生じた時期	
	F7	宛名のお子さんの同居者	
B 通園・通学	問1	通園・通学先	旧問 1-1
	問1-1	通園・通学での困りごと	
C 住まい	問2	住居形態	
	問3	住居について困っていること(1)設計・設備、(2)住宅事情	
	問4	住居の困りごとに対して希望する支援	
D 介助の状況	問5	介助の状況	
	問5-1	(1)介助を頼める人、(2)主な介助者	
	問5-2	公的サービスによる介助の頻度	
	問5-3	家族等介助の頻度	
E 福祉サービスの利用	問6	福祉サービスの利用状況、利用意向(1)～(15)	
	問6-1	福祉サービスの満足度	
	問6-2	支援を受ける上での困りごと	
F 育ちや発達の状況	問7	不安や疑問を感じた時期	
	問8	どこ(誰)かに相談したか	
	問8-1	相談して、不安や疑問が解消したか	
	問9	発達障害に関する診断の有無	
	問10	市内の相談機関等の認知度・利用状況(1)～(5)	旧問 26
	問11	ライフステージに応じた支援として希望すること	
	問12	お子さんの将来の希望	
G 防災	問13	災害時の不安や心配ごと	
	問14	災害対策としてふだんから行っていること	
	問15	避難場所で希望する配慮	
	問16	災害時に協働で進める地域の支え合い	
H 医療	問17	現在何らかの医療的ケアを必要としているか	
	問17-1	現在必要とする医療的ケア	
	問17-2	医療的ケアの実施にあたっての困りごと	
I 地域・共生社会	問18	市民のノーマライゼーションの理解	
	問18-1	どのようなことがあれば理解されていると思うか	
	問19	必要とする合理的配慮	
	問20	地域がお子さんの成長を支えてくれていると感じるか	
J 施策	問21	市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度	
	問21-1	不満な理由(バリア等)	
	問22	充実を望む施策	
	問23	市への要望<自由回答>	
K 保護者の状況	問24	主な養育者	
	問25	保護者の年齢	
	問26	保護者の就労状況	
	問27	(1)収入源、(2)世帯の年収	
	問28	近所づきあいの現状	他分野共通
	問29	相談できる人の有無	他分野共通
	問29-1	相談先	
問30	養育の負担感・ストレス等軽減のために重要なこと(3つ)		

### (3) 調査3 障害者福祉団体調査

#### ① 調査項目一覧

調査項目	問番号	設問	前回調査問番号
A 活動状況	問1	団体の名称・連絡先	問1
	問2	会員数、運営に携わっている人数	問2
	問3	活動拠点の有無	問3
	問3-1	活動拠点の具体的な場所<自由回答>	問3-1
	問4	運営経費の収入源	問4
	問5	活動の担い手の現在の充足度と今後の充実意向 (1)活動する上で足りているか、(2)今後の充実に向けて	新規
	問5-1	活動の担い手を増やすための取り組みの有無	新規
	問5-2	活動の担い手を増やすための具体的な取り組み内容<自由回答>	新規
	問6	活動する上で困っていること	問5
B 相談支援体制	問7	市の相談支援体制に望むこと<自由回答>	問6
C 災害時の支援	問8	災害時に心配なこと、支援としてあったらよいこと<自由回答>	問7
D 制度の谷間の問題	問9	地域での制度の谷間の問題<自由回答>	問8
E 地域共生社会 づくりに向けた 協力意向	問10	地域共生社会に向けた市民向けの意識啓発に協力できること <自由回答>	問9
	問11	地域共生社会に向けて、意識啓発以外にも協力できること <自由回答>	新規
F 障害福祉施策 について	問12	障害者に対する合理的配慮として、特に必要なこと<自由回答>	新規
	問13	バリアフリーの施策で期待すること<自由回答>	新規
	問14	市の障害福祉施策への意見・要望<自由回答>	問10

#### (4) 調査4 障害福祉サービス事業所

※各設問は、法人または事業所のいずれの立場で回答するのか分かる尋ね方をする。

調査項目	問番号	設問	前回調査問番号
A 活動状況	問1	事業所の活動状況 (名称等、組織形態、実施事業、対象事業の定員数・利用者数、 【新規:必要性を感じている実施していない事業・その理由】)	問1
B サービス提供体制	問2	具体的なサービス提供量	問2
	問3	インフォーマルサービスに対する利用者ニーズ<自由回答>	新規
C 今後の事業運営	問4	昨年度の事業の採算(1)事業所、(2)法人	問3
	問5	運営上の不安	問4
	問6	サービスを実施する上での問題	問5
	問7	人材確保に向けての課題	新規
	問8	今後5年間の事業規模拡大予定	問6
	問9	今後5年間の利用者受入れ余裕	問7
D 利用者本位のしくみ	問10	権利擁護のために取り組んでいること	問8
	問11	苦情・意見等を取り入れるため、工夫していること	問9
	問12	第三者評価の実施の有無	問10
	問12-1	実施の予定はない理由	問10-1
	問13	障害者の虐待防止に向けて取り組んでいること	問11
	問14	サービスを提供する上で、虐待などの場面に遭遇した経験 (虐待などの場面に遭遇した事業所に)具体的な内容、対応 <自由回答>	新規
E 地域共生社会 づくりに向けた 協力意向	問15	地域共生社会に向けた市民向けの意識啓発に協力できること <自由回答>	調査3 問9
	問16	地域共生社会に向けて、意識啓発以外にも協力できること <自由回答>	新規
	問17	災害時に事業所として協力できること	問12
F 力を入れている点	問18	最も力を入れていること<自由回答>	問14
	問19	利用者に対して特に力を入れていること<自由回答>	問15
G 市への要望	問20	市の障害福祉サービス充実に向けて必要なこと	問16
	問21	障害福祉サービスについての要望<自由回答>	問17
	問22	利用者や家族から寄せられた意見、要望<自由回答>	問16

# 府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・ 府中市障害児福祉計画策定のための調査

## 調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、令和3年3月に策定を予定しております「府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画」の基礎資料とするために、調査を実施します。

この調査は、府中市にお住まいの身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療受給者証、特定医療費受給者証をお持ちの方の中から、2,300名を無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和元年10月 府中市

### 記入についてのお願い

- 封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。回答はできる限り、あて名ご本人が記入してください。なお、あて名ご本人おひとりでの回答がむずかしい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いたうえで代わりに記入してください。
- 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
- お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。  
[ ] の場合は回答内容等を記入してください。
- の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
- 「その他」に○印をつけられた方は、[ ] 内に具体的な答えを記入してください。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

11月11日（月）までに 返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

#### 【問合せ先】

府中市福祉保健部障害者福祉課 TEL 042-335-4545

# お知らせ

この調査の結果については、令和2年4月頃に府中市のホームページで公開する他、調査報告書を府中市役所障害者福祉課窓口等に設置いたします。ぜひ、ご覧ください。

## 府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画 までのスケジュール

府中市障害者計画※1・府中市障害福祉計画※2・府中市障害児福祉計画※3は、この調査結果などを基礎資料とし、市民、学識経験者、障害者福祉団体等から構成された「府中市障害者計画推進協議会」で検討を進めながら策定します。

- ※1：障害者のための施策全般に関する基本的な考え方や方向性を定める6年間の計画
- ※2：障害福祉サービスの必要な量の見込み、その確保策等に関する3年間の実施計画
- ※3：障害児福祉サービスの必要な量の見込み、その確保策等に関する3年間の実施計画

令和2年3月 この調査も含めた調査報告書を取りまとめます。  
令和2年4月頃 調査報告書を府中市のホームページで公開するとともに、各関係機関に設置します。  
令和2年秋頃 計画についてパブリックコメントを実施します。  
令和3年3月 ここでいただいたご意見をもとに計画を再調整します。  
第5期府中市障害者計画・府中市障害福祉計画(第6期)・府中市障害児福祉計画(第2期)を策定します。

なお、現計画(第4期府中市障害者計画・府中市障害福祉計画(第5期)・障害児福祉計画(第1期))は、前回の皆様にご回答いただいたアンケートを基礎資料として策定し、府中市役所障害者福祉課窓口や中央図書館等にてご覧いただけます。

また、以下の府中市のホームページ (<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>) でもご覧いただけます。

### ◆府中市障害者計画

府中市ホームページトップページ ⇒ 行政情報 ⇒ 施策・計画 ⇒ 健康福祉分野 ⇒ 府中市福祉計画 ⇒ 障害者計画・障害福祉計画(第4期)

### ◆府中市障害福祉計画(第5期)・府中市障害児福祉計画(第1期)

府中市ホームページトップページ ⇒ 行政情報 ⇒ 施策・計画 ⇒ 健康福祉分野 ⇒ 府中市障害福祉計画・障害児福祉計画

F 1 記入される方とあて名ご本人との関係についておたずねします。(1つに○)

(N=1,419)

1. 本人	75.2%	5. 子ども	3.3%
2. 配偶者	5.4%	6. 兄弟姉妹	0.8%
3. 母親	9.5%	7. その他〔具体的に： <input type="text"/> 〕	1.3%
4. 父親	1.8%	無回答	2.7%

あなたご自身のことについておたずねします

※ここでいう「あなた自身」とは、調査票をお送りしたあて名ご本人のことです。

F 2 あなたの性別と年齢をお答えください。(1つに○)

\* 戸籍上の性別とは別にご自身の主観によりご記入ください。

(1) 性別

(N=1,419)

1. 男性	47.7%	2. 女性	49.6%
		無回答	2.7%

(2) 年齢 \*平成31年4月1日現在の年齢でお答えください。

(N=1,419)

1. 18～24歳	7.8%	6. 45～49歳	7.7%
2. 25～29歳	6.1%	7. 50～54歳	6.7%
3. 30～34歳	3.5%	8. 55～59歳	5.8%
4. 35～39歳	4.2%	9. 60～64歳	6.1%
5. 40～44歳	5.6%	10. 65歳以上	44.9%
		無回答	1.6%

F 3 あなたはどちらにお住まいですか。(1つに○)

\* 市内にお住まいの方は  内にも記入してください。

(N=1,419)

1. 市内 97.7%	→	<input type="text"/>	町	<input type="text"/>	丁目
2. 市外 0.7%					
無回答 1.6%					

中央文化センター圏域	16.6%	是政文化センター圏域	8.7%
白系台文化センター圏域	10.2%	紅葉丘文化センター圏域	7.7%
西府文化センター圏域	6.3%	押立文化センター圏域	4.2%
武蔵台文化センター圏域	6.9%	四谷文化センター圏域	4.8%
新町文化センター圏域	11.7%	片町文化センター圏域	8.9%
住吉文化センター圏域	11.0%	無回答	3.0%



F 4 あなたと同居\*している方はどなたですか。(いくつでも〇)

\* 2世帯住宅は同居としてお答えください。

\* 配偶者の親族を含めてお答えください。

(N=1,419)

1. ひとり暮らし(自分のみ)	17.8%	6. 祖父、祖母	1.6%
2. 配偶者(夫または妻)	44.7%	7. 兄弟、姉妹	10.6%
3. 息子、娘(息子の妻、娘の夫も含む)	27.8%	8. その他	6.6%
4. 母親	24.5%	[ 具体的に :	]
5. 父親	18.1%	無回答	1.1%

F 5 あなたがお持ちの手帳または受給者証の種類ごとに、現在の程度に〇をつけてください。

(N=1,419)

お持ちの手帳等の種類	現在の手帳の程度・受給状況					
身体障害者手帳	1級	21.4%	2級	11.8%	3級	8.2%
	4級	14.5%	5級	3.2%	6級	3.0%
	無回答 37.9%					
愛の手帳	1度	1.6%	2度	3.8%	3度	3.5%
	4度	7.6%	無回答 83.5%			
精神障害者保健福祉手帳	1級	0.7%	2級	6.5%	3級	6.8%
	無回答 86.0%					
自立支援医療受給者証	1. 受給している		17.3%			
	2. 受給していない		9.9%		無回答 72.8%	
特定医療費受給者証	1. 受給している		[ 対象の疾病 : ]			14.1%
	2. 受給していない		14.4%		無回答 71.5%	

F 6 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。身体障害者手帳に記載された項目は次のどれですか。(いくつでも〇)

(N=1,419)

1. 視覚障害	4.2%
2. 聴覚障害	6.7%
3. 音声・言語・そしゃく・平衡機能障害	2.5%
4. 肢体不自由(上肢・下肢・体幹の障害)	30.2%
5. 内部障害(心臓・肝臓・腎臓・呼吸器・膀胱・直腸・小腸・免疫機能の障害)	22.3%
無回答	38.0%

F 7 主な障害や疾病が生じたのは、いつごろですか。(1つに〇)

(N=1,419)

1. 出生時(出生前を含む)	9.4%	6. 30~39歳ころ	6.8%
2. 乳幼児期(0歳~小学校入学前)	9.2%	7. 40~49歳ころ	9.4%
3. 学齢期(小学校入学~中学校卒業)	3.7%	8. 50~59歳ころ	12.3%
4. 中学校卒業後~17歳ころ	2.4%	9. 60歳以上	24.2%
5. 18~29歳ころ	10.9%	10. 分からない	3.0%
		無回答	8.7%

F 8 あなたの収入源と年収はどれくらいですか。年収は、税金などを差し引く前の額でお答えください。年金、手当、生活保護費、親族からの援助もすべて含みます。

(1) 収入源(いくつでも〇)

(N=1,419)

1. 仕事	32.6%	5. 親族からの援助	6.6%
2. 各種手当	14.0%	6. その他	12.3%
3. 障害基礎年金・厚生年金・国民年金	63.4%	[ 具体的に: ]	
4. 生活保護費	7.3%	無回答	3.4%

(2) 年収(1つに〇)

(N=1,419)

1. 50万円未満	10.4%	8. 400万円以上~500万円未満	3.3%
2. 50万円以上~100万円未満	21.7%	9. 500万円以上~600万円未満	2.5%
3. 100万円以上~150万円未満	14.7%	10. 600万円以上~700万円未満	1.2%
4. 150万円以上~200万円未満	10.7%	11. 700万円以上~1,000万円未満	2.3%
5. 200万円以上~250万円未満	9.2%	12. 1,000万円以上~1,500万円未満	0.6%
6. 250万円以上~300万円未満	5.3%	13. 1,500万円以上	0.3%
7. 300万円以上~400万円未満	5.9%	14. その他[具体的に: ]	2.6%
		無回答	9.3%

## お住まいについておたずねします

問1 あなたの住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

(N=1,419)

1. 持ち家の一戸建て	42.6%	5. 公営住宅、UR・公社の賃貸住宅	10.1%
2. 持ち家の集合住宅	20.8%	6. グループホーム	1.0%
3. 民間賃貸の一戸建て	1.3%	7. その他〔具体的に： 〕	4.7%
4. 民間賃貸の集合住宅	18.3%	無回答	1.2%

問2 お住まいについて何か困っていることがありますか。

(1) 設計・設備について(いくつでも○)

(N=1,419)

1. 階段や段差に苦労する	17.4%
2. 浴室・トイレなどの家屋内の設備が不便	12.5%
3. 住宅が狭い・または自分専用の部屋がない	9.9%
4. 入り口や廊下のスペースが狭く移動がむずかしい	4.4%
5. 駐車場がない	2.7%
6. エレベーターがない	7.8%
7. 耐震補強ができていない	9.2%
8. その他〔具体的に： 〕	6.6%
9. 特に困っていない	53.6%
無回答	6.1%

(2) 住宅事情について(いくつでも○)

(N=1,419)

1. 家賃が高い	11.8%
2. 駅から遠い、買物が不便など、立地が悪い	14.1%
3. 近隣に住む人との間に問題を抱えている	4.2%
4. 電車の音や人の声など騒音が気になる	7.1%
5. その他〔具体的に： 〕	7.7%
6. 特に困っていない	56.1%
無回答	8.0%

問3 お住まいに関する困りごとで、希望する支援は次のどれですか。(いくつでも○)

(N=1,419)

1. 住宅設備を改善する工事費用の給付	22.8%	4. 障害に対する不動産会社の理解促進	8.3%
2. 家具転倒防止器具の支給	14.6%	5. 障害者に対する近隣住民の理解促進	10.1%
3. 住宅費の助成	22.5%	6. その他〔具体的に： 〕	8.5%
		無回答	39.7%

にちじょうせいかつ  
日常生活についておたずねします

問4 あなたの日常生活についておたずねします。次のそれぞれの状況について、1～3のいずれか1つに○をつけてください。  
(（1）～（11）について、それぞれ1つに○)

(N=1,419)	ひとりできる (補装具の使用を含む)	一部介助 が必要	全面的に介助 が必要	無回答
(例)	①	2	3	
(1) 食事	80.8%	8.1%	5.0%	6.1%
(2) 調理	58.0%	13.5%	20.8%	7.7%
(3) 排泄	81.1%	7.3%	5.7%	5.9%
(4) 着替え	77.8%	10.4%	6.3%	5.5%
(5) 入浴	73.2%	11.0%	10.2%	5.6%
(6) 掃除、洗濯	57.2%	16.9%	19.2%	6.7%
(7) 室内の移動	80.1%	7.6%	5.8%	6.5%
(8) お金の管理	62.4%	13.2%	18.1%	6.3%
(9) 外出（買い物なども含む）	57.9%	17.1%	18.9%	6.1%
(10) 人とのコミュニケーション	64.6%	18.3%	10.1%	7.0%
(11) 障害福祉サービスなどの手続き	50.7%	18.4%	23.1%	7.8%

問5 あなたは、日常生活において何らかの介助を受けていますか。（1つに○）

(N=1,419)

1. 受けている → 問5-1、5-2、5-3、5-4にお答えください 41.2%
2. まったく受けていない → 問6へ進む 55.6%
- 無回答 3.2%

問5-1 問5で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

(1) 介助を頼めるのはどなたですか。（いくつでも○）

(n=585)

- |         |       |                     |       |
|---------|-------|---------------------|-------|
| 1. 配偶者  | 33.7% | 6. 近所の人             | 1.4%  |
| 2. 母親   | 33.0% | 7. ボランティア           | 1.5%  |
| 3. 父親   | 22.6% | 8. 公的なサービス          | 47.0% |
| 4. 子ども  | 24.3% | (障害福祉サービス・介護保険サービス) |       |
| 5. 兄弟姉妹 | 14.7% | 9. その他〔具体的に： 〕      | 11.8% |
|         |       | 無回答                 | 2.9%  |

(2) 主な介助者はどなたですか。

((1) の選択肢から1つだけ  の中に記入してください)

主な介助者

(n=585)

1. 配偶者	17.6%	6. 近所の人	0.0%
2. 母親	13.5%	7. ボランティア	0.2%
3. 父親	1.4%	8. 公的なサービス (障害福祉サービス・介護保険サービス)	10.9%
4. 子ども	8.0%	9. その他〔具体的に： <input type="checkbox"/> 〕	4.4%
5. 兄弟姉妹	1.4%	無回答	42.6%

問5-2 問5で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

公的なサービスによる介助（介護保険サービス、障害福祉サービス）を1週間のうち何日ぐらい受けていますか。（1つに〇）

(n=585)

1. 毎日	11.3%	4. 週に1日	10.6%
2. 週に4～6日	15.4%	5. 受けていない	34.5%
3. 週に2～3日	18.5%	無回答	9.7%

問5-3 問5で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

家族・親族・ボランティア（公的なサービスを除く）の介助を1週間のうち何日ぐらい受けていますか。（1つに〇）

(n=585)

1. 毎日	44.8%	4. 週に1日	9.1%
2. 週に4～6日	3.8%	5. 受けていない	15.9%
3. 週に2～3日	9.1%	無回答	17.3%

問5-4 あなた（あて名のご本人）が、将来のことで、特に不安に感じていることは何ですか。（いくつでも〇）

(n=585)

1. 日常の介助者がいるか	42.9%	8. 必要な医療を受けられるか	40.7%
2. 働く場があるか	18.8%	9. 希望する施設に入所できるか	36.6%
3. 生活するうえで十分な収入があるか	46.3%	10. 緊急時にすぐに助けにきてもらえるか	46.3%
4. 住宅が確保できるか	21.0%	11. ひとりで手続きや財産管理ができるか	38.8%
5. 相談や頼ることができる人がいるか	31.6%	12. 趣味や生きがいを持てるか	22.6%
6. 身近に相談機関があるか	20.7%	13. その他〔具体的に： <input type="checkbox"/> 〕	6.3%
7. 必要な支援や機能訓練を受けられるか	31.3%	14. 特にない	8.4%
		無回答	4.1%

しょうがいふくし サービスのりよう  
**障害福祉サービスの利用についておたずねします**

**問6** 福祉サービスの利用状況・利用意向について、おたずねします。(1)～(8)のそれぞれについて、「1」～「7」にいくつでも○をつけてください。

(N=1,419)	利用できている	希望通り	希望通りではない	利用しているが 事業所に空きがない	利用したいが がない	今後、利用したい	利用したくない	分からない	無回答
(1) <b>訪問系サービス</b> 自宅を訪問して介護等の日常生活全般の支援を行うサービス	9.4%	3.0%	0.6%	0.8%	19.0%	16.8%	30.1%	21.3%	
(2) <b>日中活動系サービス</b> 障害者施設において日中に行われる介護・作業・訓練等の場を提供するサービス	9.9%	3.2%	0.7%	1.1%	12.3%	18.7%	30.5%	24.0%	
(3) <b>居住系サービス</b> 地域生活を送るための共同生活の住居（グループホームなど）を提供し、日中や夜間、休日等に必要な介護、支援を提供するサービス	2.4%	0.7%	1.8%	1.0%	17.3%	21.7%	31.6%	24.3%	
(4) <b>短期入所サービス</b> 家族が一時的に介護ができない場合などに、施設に短期間入所し、食事や入浴など、日常生活全般の介護を提供するサービス	3.9%	3.2%	1.6%	0.8%	19.5%	20.0%	29.2%	22.8%	
(5) <b>相談支援</b> 総合的な相談、サービスの利用援助などの場合のサービス利用計画の作成などを行うサービス	11.4%	2.9%	0.6%	1.1%	24.9%	11.6%	25.6%	22.3%	
(6) <b>移動支援</b> ガイドヘルパーを派遣する事業で、同行し、移動の手助けや交通機関の利用の補助などの外出をサポートするサービス	4.4%	2.7%	1.0%	1.2%	18.4%	18.3%	30.3%	24.2%	
(7) <b>意思疎通支援</b> 手話通訳者、要約筆記者の派遣を行うサービス	1.6%	0.5%	0.1%	0.3%	6.2%	24.3%	39.3%	28.0%	
(8) <b>補装具・日常生活用具費の支給</b> 義足や車いすなどの補装具、日常生活用具の費用を支給するサービス	9.8%	4.6%	0.1%	0.3%	16.8%	16.1%	29.2%	23.5%	

**問6-1**は、問6の(1)～(8)で1つでも「1」「2」と答えた方におたずねします。すべて「3」～「7」と答えた方は問7へお進みください。

**問6-1** 障害者福祉サービスの満足度は、次のうちどれですか。(1つに○)

(n=440)

1. 満足	→問7へ進む	30.2%	3. やや不満	→問6-2にお答え ください	17.5%	
2. やや満足			35.4%			4. 不満
					無回答	13.0%

問6-2 問6-1で「3」「4」と答えた方におたずねします。

サービスの不満な理由は次のうちどれですか。(いくつでも○)

(n=94)

- |   |       |   |       |
|---|-------|---|-------|
| 1. サービス支 <sup>しきゅうりょう</sup> 給 <sup>すく</sup> 量が少 <sup>すく</sup> ない  | 24.5% | 7. 費 <sup>ひよう</sup> 用 <sup>ふたん</sup> 負 <sup>おお</sup> 担 <sup>おお</sup> が大 <sup>おほ</sup> きい  | 25.5% |
| 2. サービスの質 <sup>しつ</sup> が良 <sup>よ</sup> くない   | 22.3% | 8. 利 <sup>りよう</sup> 用 <sup>ほうほう</sup> 方 <sup>ほう</sup> 法 <sup>ほう</sup> がわ <sup>わ</sup> か <sup>か</sup> り <sup>り</sup> に <sup>に</sup> く <sup>く</sup> い   | 16.0% |
| 3. 希 <sup>きぼう</sup> 望 <sup>ぼう</sup> 通 <sup>つう</sup> り <sup>り</sup> の <sup>の</sup> 内 <sup>ない</sup> 容 <sup>よう</sup> で <sup>で</sup> サ <sup>さ</sup> ー <sup>さ</sup> ビ <sup>び</sup> ス <sup>す</sup> が <sup>が</sup> 使 <sup>つか</sup> え <sup>え</sup> な <sup>な</sup> い | 37.2% | 9. サ <sup>さ</sup> ー <sup>さ</sup> ビ <sup>び</sup> ス <sup>す</sup> 内 <sup>ない</sup> 容 <sup>よう</sup> が <sup>が</sup> わ <sup>わ</sup> か <sup>か</sup> り <sup>り</sup> に <sup>に</sup> く <sup>く</sup> い                  | 18.1% |
| 4. 希 <sup>きぼう</sup> 望 <sup>ぼう</sup> す <sup>す</sup> る <sup>る</sup> 曜 <sup>よう</sup> 日 <sup>じつ</sup> ・時 <sup>じ</sup> 間 <sup>かん</sup> に <sup>に</sup> 使 <sup>つか</sup> え <sup>え</sup> な <sup>な</sup> い  | 36.2% | 10. サ <sup>さ</sup> ー <sup>さ</sup> ビ <sup>び</sup> ス <sup>す</sup> の <sup>の</sup> 情 <sup>じょう</sup> 報 <sup>ほう</sup> が <sup>が</sup> 入 <sup>い</sup> 手 <sup>て</sup> し <sup>し</sup> に <sup>に</sup> く <sup>く</sup> い | 26.6% |
| 5. 希 <sup>きぼう</sup> 望 <sup>ぼう</sup> す <sup>す</sup> る <sup>る</sup> 事 <sup>じ</sup> 業 <sup>ぎょう</sup> 者 <sup>しゃ</sup> や <sup>や</sup> 施 <sup>し</sup> 設 <sup>せつ</sup> が <sup>が</sup> 見 <sup>み</sup> つ <sup>つ</sup> か <sup>か</sup> ら <sup>ら</sup> な <sup>な</sup> い | 19.1% | 11. そ <sup>た</sup> の <sup>た</sup>   | 13.8% |
| 6. 緊 <sup>きん</sup> 急 <sup>きゅう</sup> 時 <sup>じ</sup> に <sup>に</sup> 利 <sup>り</sup> 用 <sup>りよう</sup> で <sup>で</sup> き <sup>き</sup> な <sup>な</sup> い  | 39.4% | 〔 <sup>ぐ</sup> 真 <sup>ま</sup> 体 <sup>たい</sup> 的 <sup>てき</sup> に <sup>に</sup> ：  | 〕     |
|   |       | 無 <sup>む</sup> 回 <sup>かい</sup> 答 <sup>とう</sup>  | 3.2%  |

ひ かつどう  
日<sup>ひ</sup>ご<sup>ご</sup>ろ<sup>ろ</sup>の<sup>の</sup>活<sup>かつ</sup>動<sup>どう</sup>に<sup>に</sup>つ<sup>つ</sup>い<sup>い</sup>て<sup>て</sup>お<sup>お</sup>た<sup>た</sup>ず<sup>ず</sup>ね<sup>ね</sup>し<sup>し</sup>ま<sup>ま</sup>す

問7 あなたは、普<sup>ふ</sup>段<sup>だん</sup>の<sup>の</sup>生<sup>せい</sup>活<sup>かつ</sup>の中<sup>なか</sup>で<sup>で</sup>ど<sup>ど</sup>れ<sup>れ</sup>く<sup>く</sup>ら<sup>ら</sup>い<sup>い</sup>外<sup>がい</sup>出<sup>しゅつ</sup>し<sup>し</sup>ま<sup>ま</sup>す<sup>す</sup>か。(1つに○)

(N=1,419)

- |  |       |   |      |
|--|-------|---|------|
| 1. ほ <sup>ほ</sup> と <sup>と</sup> ん <sup>ん</sup> ど <sup>ど</sup> 毎 <sup>まい</sup> 日 <sup>じつ</sup> 外 <sup>がい</sup> 出 <sup>しゅつ</sup> す <sup>す</sup>   | 52.7% | 4. 月 <sup>つき</sup> に <sup>に</sup> 1~2回 <sup>かい</sup> く <sup>く</sup> ら <sup>ら</sup> い <sup>い</sup> 外 <sup>がい</sup> 出 <sup>しゅつ</sup> す <sup>す</sup> | 4.9% |
| 2. 週 <sup>しゅう</sup> に <sup>に</sup> 2~3回 <sup>かい</sup> 外 <sup>がい</sup> 出 <sup>しゅつ</sup> す <sup>す</sup>  | 24.8% | 5. ほ <sup>ほ</sup> と <sup>と</sup> ん <sup>ん</sup> ど <sup>ど</sup> 外 <sup>がい</sup> 出 <sup>しゅつ</sup> し <sup>し</sup> な <sup>な</sup> い                   | 6.1% |
| 3. 週 <sup>しゅう</sup> に <sup>に</sup> 1回 <sup>かい</sup> く <sup>く</sup> ら <sup>ら</sup> い <sup>い</sup> 外 <sup>がい</sup> 出 <sup>しゅつ</sup> す <sup>す</sup> | 7.3%  | 無 <sup>む</sup> 回 <sup>かい</sup> 答 <sup>とう</sup>  | 4.2% |

問8 市<sup>し</sup>内<sup>ない</sup>の<sup>の</sup>バ<sup>ば</sup>リ<sup>り</sup>ア<sup>あ</sup>フ<sup>ふ</sup>リ<sup>り</sup>ー<sup>の</sup>環<sup>かん</sup>境<sup>きょう</sup>の<sup>の</sup>整<sup>せい</sup>備<sup>び</sup>状<sup>じょう</sup>況<sup>きょう</sup>の<sup>の</sup>満<sup>まん</sup>足<sup>そく</sup>度<sup>ど</sup>は、次<sup>つぎ</sup>の<sup>の</sup>う<sup>う</sup>ち<sup>ち</sup>ど<sup>ど</sup>れ<sup>れ</sup>で<sup>で</sup>す<sup>す</sup>か。

(N=1,419)

(1つに○)

- |  |           |       |   |                  |       |
|--|-----------|-------|---|------------------|-------|
| 1. 満 <sup>まん</sup> 足 <sup>そく</sup>                               | } → 問9へ進む | 17.5% | 3. や <sup>や</sup> や <sup>や</sup> 不 <sup>ふ</sup> 満 <sup>まん</sup> | } → 問8-1にお答えください | 23.3% |
| 2. や <sup>や</sup> や <sup>や</sup> 満 <sup>まん</sup> 足 <sup>そく</sup> |           | 34.6% | 4. 不 <sup>ふ</sup> 満 <sup>まん</sup>                               |                  | 4.4%  |
|  |           |       | 無 <sup>む</sup> 回 <sup>かい</sup> 答 <sup>とう</sup>                  |                  | 20.2% |

問8-1 問8で「3」「4」と答えた方におたずねします。バ<sup>ば</sup>リ<sup>り</sup>ア<sup>あ</sup>フ<sup>ふ</sup>リ<sup>り</sup>ー<sup>の</sup>環<sup>かん</sup>境<sup>きょう</sup>の<sup>の</sup>整<sup>せい</sup>備<sup>び</sup>状<sup>じょう</sup>況<sup>きょう</sup>に<sup>に</sup>不<sup>ふ</sup>満<sup>まん</sup>な<sup>な</sup>理<sup>り</sup>由<sup>ゆう</sup>は<sup>は</sup>次<sup>つぎ</sup>の<sup>の</sup>う<sup>う</sup>ち<sup>ち</sup>ど<sup>ど</sup>れ<sup>れ</sup>で<sup>で</sup>す<sup>す</sup>か。(いくつでも○)

(n=392)

- |  |       |       |
|--|-------|-------|
| 1. 建 <sup>たて</sup> 物 <sup>もの</sup> の <sup>の</sup> 出 <sup>で</sup> 入 <sup>い</sup> 口 <sup>ぐち</sup> や <sup>や</sup> 通 <sup>つう</sup> 路 <sup>ろ</sup> に <sup>に</sup> 段 <sup>だん</sup> 差 <sup>さ</sup> が <sup>が</sup> あ <sup>あ</sup> つ <sup>つ</sup> た <sup>た</sup> り <sup>り</sup> 、幅 <sup>はば</sup> が <sup>が</sup> 狭 <sup>せま</sup> い <sup>い</sup> こ <sup>こ</sup> と   | 65.1% |       |
| 2. 公 <sup>こう</sup> 共 <sup>きょう</sup> 施 <sup>し</sup> 設 <sup>せつ</sup> や <sup>や</sup> 病 <sup>びょう</sup> 院 <sup>いん</sup> 等 <sup>どう</sup> に <sup>に</sup> ス <sup>す</sup> ロ <sup>ろ</sup> ー <sup>の</sup> フ <sup>ふ</sup> 、エ <sup>え</sup> レ <sup>れ</sup> ベ <sup>べ</sup> ー <sup>の</sup> タ <sup>た</sup> ー <sup>の</sup> や <sup>や</sup> エ <sup>え</sup> ス <sup>す</sup> カ <sup>か</sup> レ <sup>れ</sup> ー <sup>の</sup> タ <sup>た</sup> ー <sup>の</sup> が <sup>が</sup> な <sup>な</sup> い <sup>い</sup> こ <sup>こ</sup> と         | 21.9% |       |
| 3. 誰 <sup>たれ</sup> も <sup>も</sup> が <sup>が</sup> 使 <sup>つか</sup> い <sup>い</sup> や <sup>や</sup> す <sup>す</sup> い <sup>い</sup> ト <sup>と</sup> イ <sup>い</sup> レ <sup>れ</sup> の <sup>の</sup> 設 <sup>せつ</sup> 置 <sup>ち</sup> が <sup>が</sup> 不 <sup>ふ</sup> 十 <sup>じゅう</sup> 分 <sup>ぶん</sup>   | 41.3% |       |
| 4. 道 <sup>どう</sup> 路 <sup>ろ</sup> に <sup>に</sup> 障 <sup>しょう</sup> 害 <sup>がい</sup> 物 <sup>ぶつ</sup> (商 <sup>しょう</sup> 品 <sup>ひん</sup> や <sup>や</sup> 着 <sup>ちゃく</sup> 板 <sup>ばん</sup> 、放 <sup>ほう</sup> 置 <sup>ち</sup> 自 <sup>じてん</sup> 転 <sup>せん</sup> 車 <sup>しゃ</sup> 、電 <sup>でん</sup> 柱 <sup>ちゅう</sup> な <sup>な</sup> ど)が <sup>が</sup> 多 <sup>おほ</sup> い <sup>い</sup> こ <sup>こ</sup> と   | 48.7% |       |
| 5. 点 <sup>てん</sup> 字 <sup>じ</sup> ブ <sup>ぶ</sup> ロ <sup>ろ</sup> ク <sup>く</sup> ・視 <sup>しかく</sup> 覚 <sup>じょう</sup> 障 <sup>しょう</sup> 害 <sup>がい</sup> 者 <sup>しゃ</sup> 用 <sup>りよう</sup> 信 <sup>しん</sup> 号 <sup>ごう</sup> の <sup>の</sup> 設 <sup>せつ</sup> 置 <sup>ち</sup> が <sup>が</sup> 不 <sup>ふ</sup> 十 <sup>じゅう</sup> 分 <sup>ぶん</sup>   | 8.4%  |       |
| 6. 電 <sup>でん</sup> 車 <sup>しゃ</sup> ・バ <sup>ば</sup> ス <sup>す</sup> な <sup>な</sup> ど <sup>ど</sup> へ <sup>へ</sup> の <sup>の</sup> 乗 <sup>じょう</sup> 車 <sup>しゃ</sup> が <sup>が</sup> 困 <sup>こん</sup> 難 <sup>なん</sup>  | 27.0% |       |
| 7. 駐 <sup>ちゅう</sup> 車 <sup>しゃ</sup> 場 <sup>じょう</sup> が <sup>が</sup> な <sup>な</sup> い   | 14.8% |       |
| 8. 標 <sup>ひょう</sup> 識 <sup>しき</sup> や <sup>や</sup> 案 <sup>あん</sup> 内 <sup>ない</sup> が <sup>が</sup> わ <sup>わ</sup> か <sup>か</sup> り <sup>り</sup> に <sup>に</sup> く <sup>く</sup> い   | 16.3% |       |
| 9. コ <sup>こ</sup> ミュ <sup>ミュ</sup> ニ <sup>ニ</sup> ケ <sup>ケ</sup> ー <sup>の</sup> シ <sup>シ</sup> ョ <sup>ョ</sup> ン <sup>ン</sup> が <sup>が</sup> う <sup>う</sup> ま <sup>ま</sup> く <sup>く</sup> い <sup>い</sup> か <sup>か</sup> な <sup>な</sup> い  | 13.8% |       |
| 10. 盲 <sup>もう</sup> 導 <sup>どう</sup> 犬 <sup>けん</sup> な <sup>な</sup> ど <sup>ど</sup> の <sup>の</sup> 補 <sup>ほ</sup> 助 <sup>じょ</sup> 犬 <sup>けん</sup> や <sup>や</sup> 車 <sup>くるま</sup> い <sup>い</sup> す <sup>す</sup> で <sup>で</sup> の <sup>の</sup> 入 <sup>にゅう</sup> 室 <sup>しつ</sup> が <sup>が</sup> 配 <sup>はい</sup> 慮 <sup>りよ</sup> さ <sup>さ</sup> れた <sup>た</sup> 店 <sup>みせ</sup> ・レ <sup>れ</sup> ス <sup>す</sup> ト <sup>と</sup> ラ <sup>ら</sup> ン <sup>ん</sup> が <sup>が</sup> 少 <sup>すく</sup> な <sup>な</sup> い | 12.0% |       |
| 11. 介 <sup>かい</sup> 助 <sup>じょ</sup> 者 <sup>しゃ</sup> の <sup>の</sup> 確 <sup>かく</sup> 保 <sup>ほ</sup> が <sup>が</sup> 難 <sup>なん</sup> し <sup>し</sup> い  | 13.3% |       |
| 12. そ <sup>た</sup> の <sup>た</sup> 〔 <sup>ぐ</sup> 真 <sup>ま</sup> 体 <sup>たい</sup> 的 <sup>てき</sup> に <sup>に</sup> ：   | 〕     | 15.8% |
| 無 <sup>む</sup> 回 <sup>かい</sup> 答 <sup>とう</sup>   |       | 1.5%  |

## 就労についておたずねします

問9 あなたは現在どのような仕事をしていますか。(1つに〇)

(N=1,419)

1. 一般就労	17.3%	5. 在宅ワーク	0.6%
2. 自営業者	2.6%	6. 障害者施設に通所して働いている	8.7%
3. 家業手伝い	1.2%	7. その他〔具体的に：	〕 2.9%
4. パート・アルバイト・日雇い	7.8%	8. 仕事はしていない	55.5%
		無回答	3.4%

問9-1 問9で「1」～「7」と答えた方におたずねします。

仕事をするうえで不安がありますか。(いくつでも〇)

(n=581)

1. 収入が少ない	38.2%	7. 通勤がたいへん	15.7%
2. 仕事が難しい	5.7%	8. 雇用形態が不安定	7.4%
3. 仕事がきつい	11.5%	9. 相談できる人がいない	7.7%
4. 勤務日数・時間の調整ができない	7.1%	10. その他	8.1%
5. 人間関係がうまくいかない	13.1%	〔具体的に：	〕
6. トイレなど設備が十分でない	4.6%	11. 特にな	31.0%
		無回答	5.0%

問9-2 問9で「8. 仕事はしていない」と答えた方におたずねします。

仕事をしていない理由は次のどれですか。(いくつでも〇)

(n=790)

1. 就学中・就学前のため	0.6%	7. 就労に向けて準備中のため	5.2%
2. 高齢のため	48.2%	8. 働く必要がないため	9.9%
3. 重い障害のため	19.5%	9. 解雇されたため	1.3%
4. 病気のため(入院を含む)	23.4%	10. その他	11.0%
5. 希望する職種が得られないため	4.2%	〔具体的に：	〕
6. 通勤が難しいため	5.3%	11. 特に理由はない	8.4%
		無回答	3.3%

問10 あなたは、今後どのような仕事がしたいですか。(いくつでも〇)

(N=1,419)

1. 自営業を営みたい	4.1%
2. 官公庁・一般企業の正規雇用で働きたい	6.4%
3. 官公庁・一般企業の障害者枠で働きたい	6.8%
4. 特例子会社で働きたい	2.7%
5. 非正規雇用(臨時・パート・アルバイト等)で自分の生活にあわせた働き方をしたい	10.9%
6. 在宅ワークがしたい	9.3%
7. 障害者施設に通所して働きたい	6.5%
8. 仕事に関する指導をしてくれる人がいる一般の会社で働きたい	5.1%
9. その他〔具体的に：	〕 5.0%
10. 分からない	11.5%
11. 特にな	37.6%
無回答	14.0%



問11 障害等のある人が働くためにはどのようなことを希望しますか。

(N=1,419)

(いくつでも○)

1. 自分の家の近くに働く場所があること	40.6%
2. 必要なときに通院・服薬ができるなど、健康状態にあわせた働き方ができること	40.9%
3. 障害等のある人に適した仕事が開拓されること	35.5%
4. 就労の場を紹介したり、相談できる場所が整っていること	27.8%
5. 企業に就職するための訓練を受けたり、求職活動を手伝ってもらふこと	15.2%
6. 職業訓練所など、技能・知識の習得を援助する施設が充実していること	14.7%
7. 民間企業がもっと積極的に雇用すること	21.1%
8. 自営業を希望する人への支援を充実すること	8.0%
9. 事業主や職場の人たちが、障害等のある人の雇用について充分理解していること	31.8%
10. 事業主や職場の人たちが障害特性について理解していること	30.4%
11. 職場の施設や設備が障害等のある人にも利用できるように配慮されていること	21.8%
12. 介助者と一緒に働けること	8.6%
13. 同じような障害等のある仲間と一緒に、あるいは交替で働けること	15.5%
14. 賃金格差がないこと	22.6%
15. その他〔具体的に： 〕	4.0%
16. 分からない	16.2%
無回答	15.7%

相談・権利擁護についておたずねします

問12 あなたは、悩みや困りごとを相談できる人がいますか。(1つに○)

(N=1,419)

1. いる →問12-1にお答えください	84.5%
2. いない →問13へ進む	11.5%
無回答	4.0%

問12-1 問12で「1. いる」と答えた方におたずねします。

悩みや困りごとについて、次の人・相談機関等に相談したことはありますか。(いくつでも○)

(n=1,199)

1. 家族・親族	85.7%	10. 介護保険のケアマネジャー	9.2%
2. 友人・知人	36.4%	11. 市役所（保健センター等も含む）	11.5%
3. 学校	2.3%	12. 東京都の保健所	1.2%
4. 自分と同じ状況の仲間	10.1%	13. 医師、看護師、医療相談員など	25.6%
5. 民生・児童委員	0.3%	14. その他	6.1%
6. 地域生活支援センター	10.7%	〔具体的に： 〕	
7. 相談支援事業所	4.3%	無回答	0.1%
8. 障害者施設・サービス提供事業所	10.6%		
9. 高齢者・介護保険サービス事業所	2.3%		

問13 あなたは、次の府中市内の障害等のある人のための相談機関等を知っていますか。  
 ((1)～(4)について、それぞれ1つに○)

(N=1,419)	利用している	知っているが、利用していない	知らないが、今後利用したい	利用予定はない	知らない・利用したくない	無回答
(1) 地域生活支援センター（み～な、あけぼの、プラザ、ふらっと） 地域で生活する障害等のある人やご家族に対し、生活全般の相談、サービス利用、当事者相談などを行っています。	16.0%	31.0%	13.7%	27.3%	12.0%	
(2) 身体障害者相談員・知的障害者相談員 身体障害、知的障害のある人の相談に応じ、必要な援助を行うため、市内に相談員が配置されています。	3.6%	20.0%	16.9%	42.0%	17.5%	
(3) 聴覚障害者相談事業 相談や申請などで市役所に来庁した聴覚障害のある人の手話通訳を行います。	1.2%	13.3%	4.9%	55.8%	24.8%	
(4) 計画相談支援事業所 障害福祉サービス等の利用の開始や継続に際して、障害等のある人からの相談を行っています。	6.8%	14.1%	17.0%	41.0%	21.1%	

問14 府中市内の障害等のある人のための相談機関等に求めることは何ですか。

(N=1,419) (いくつでも○)

- |                           |                                     |
|---------------------------|-------------------------------------|
| 1. 希望したときに相談に応じもらえる 52.8% | 7. 専門的な支援をしてもらえる 31.4%              |
| 2. 待ち時間が短い 18.8%          | 8. 必要に応じて、他の相談機関や専門機関につないでくれる 45.5% |
| 3. 費用がかからない 37.2%         | 9. その他 4.7%                         |
| 4. 悩みや不安を理解してもらえる 33.0%   | { 具体的に： }                           |
| 5. わかりやすく話してくれる 36.6%     | 無回答 15.6%                           |
| 6. 説明を十分にしてくれる 36.9%      |                                     |

問15 認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分ではない方について、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）をつけることで、本人を法的に支援する制度として、成年後見制度があります。あなたは、今後成年後見制度を利用するとした場合、成年後見人等にやってほしいことは何ですか。

(N=1,419) (いくつでも○)

- |                           |                     |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 預貯金等の管理・解約 35.9%       | 5. 相続手続 25.9%       |
| 2. 生活・医療等に関する契約や手続き 53.3% | 6. 保険金受取り 18.5%     |
| 3. 福祉サービスの契約や手続き 49.7%    | 7. 訴訟手続 12.1%       |
| 4. 不動産の処分 14.3%           | 8. その他〔具体的に： 〕 5.4% |
|                           | 無回答 26.6%           |

問16 あなたは、成年後見制度が利用しやすくなるためには、どのようなことが必要だ  
 と思いますか。(いくつでも〇)

(N=1,419)

- |                                   |       |
|-----------------------------------|-------|
| 1. 成年後見制度を理解するための周知・啓発            | 40.3% |
| 2. 成年後見制度の申立てや利用について相談や紹介をしてくれる機関 | 37.4% |
| 3. 家族などの親族後見人へのサポート               | 38.5% |
| 4. 長期間、後見人をするのでできる法人後見人の養成        | 15.6% |
| 5. 市民感覚で後見をしてもらえる市民後見人の養成         | 10.7% |
| 6. 弁護士、司法書士、社会福祉士等の専門職後見人の養成      | 20.6% |
| 7. 本人を後見人や関係機関等で支える仕組み            | 23.6% |
| 8. 成年後見に関係する機関同士の地域ネットワーク         | 15.6% |
| 9. その他〔具体的に： 〕                    | 5.4%  |
| 無回答                               | 24.5% |

防災についておたずねします

問17 あなたは、地震や災害などの緊急時に、ひとりで避難することができますか。

(N=1,419)

(1つに〇)

- |        |       |         |       |          |       |
|--------|-------|---------|-------|----------|-------|
| 1. できる | 45.7% | 2. できない | 31.3% | 3. 分からない | 20.3% |
|        |       |         |       | 無回答      | 2.7%  |

問18 地震や災害などが起きた場合に、避難を助けてくれるような人がいますか。

(N=1,419)

(いくつでも〇)

- |               |       |                      |       |
|---------------|-------|----------------------|-------|
| 1. 家族         | 77.1% | 4. 民生委員              | 1.3%  |
| 2. 近所の人       | 16.6% | 5. その他〔具体的に： 〕       | 5.1%  |
| 3. 障害者団体などの仲間 | 2.7%  | 6. 避難を助けてくれるような人はいない | 10.9% |
|               |       | 無回答                  | 3.9%  |

問19 あなたが災害時に困ること・不安なことは何ですか。(いくつでも〇)

(N=1,419)

- |                                    |       |
|------------------------------------|-------|
| 1. 避難所まで避難できるか心配                   | 48.2% |
| 2. 市の緊急速報メールを受信できるか分からない           | 17.5% |
| 3. 困っていることを人に伝えるのが苦手で、うまく支援を受けられない | 16.8% |
| 4. 避難を支援してくれる人がいない                 | 12.8% |
| 5. 災害や避難に関する情報が得られるか心配             | 24.5% |
| 6. 障害等のある人に配慮した避難所があるのか分からない       | 40.1% |
| 7. 大勢の人の中での避難所生活に不安がある             | 51.4% |
| 8. 医療を受けられるか分からない                  | 34.2% |
| 9. 呼吸器等に使用する非常用電源を利用できるか分からない      | 5.1%  |
| 10. 障害等のある人が利用できる防災マニュアルや防災マップがない  | 23.0% |
| 11. 避難場所が分からない                     | 17.8% |
| 12. その他〔具体的に： 〕                    | 8.7%  |
| 無回答                                | 10.9% |

問20 地震などの災害が発生したときに、避難所で配慮してほしいことは何ですか。(いくつでも〇)

項目	割合
1. 段差がない、手すりのあるトイレなどの施設のバリアフリー	36.7%
2. 文字や音声など複数の情報伝達手段があること	20.4%
3. 手話などのコミュニケーション手段の確保	5.6%
4. 個室、間仕切り（パーティション）などでの対応が可能であること	57.2%
5. 相談窓口や介助スタッフがいること	39.3%
6. アレルギー対応食や介護食、離乳食などの確保	9.1%
7. 医療や医薬品の確保	54.2%
8. 配給などに並ぶことができない場合の支援	36.2%
9. 他の避難者の障害への理解	33.1%
10. その他〔具体的に： 〕	5.1%
11. 特にない	5.4%
12. 分からない	3.9%
無回答	5.6%

問21 あなたが、災害に備えて市民や企業等が行政と協働で取り組むとよいと思うものはどのようなことですか。(いくつでも〇)

項目	割合
1. 地域住民同士の声かけや安否確認	55.3%
2. 住民たちで行う防災組織の活動の充実	21.6%
3. 地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実	23.7%
4. 地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成	35.0%
5. 地域住民を対象とした防災講習会・学習会の開催	14.4%
6. 小・中学校の防災教育・訓練の充実	15.1%
7. 府中市災害時要援護者名簿登録届兼救急災害医療情報キットの申込みの推進	21.6%
8. 地域内外の団体等との日ごろからの交流	13.7%
9. 商店や会社による場の提供や備蓄品の提供など	39.2%
10. その他〔具体的に： 〕	3.4%
無回答	15.2%

問22 あなたが災害対策としてふだんから行っていることは何ですか。(いくつでも〇)

項目	割合
1. 防災グッズ（非常用食料、飲料水等）の準備	58.1%
2. 家具の固定、ガラス拡散対策	29.2%
3. 貴重品・常備薬等をすぐ持ち出せるよう準備	34.4%
4. 避難場所・ルートの確認	26.6%
5. 防災訓練への参加	10.0%
6. 災害時要援護者登録の対象になる場合、その登録	4.4%
7. 緊急連絡先や支援の方法を記載した防災手帳やヘルプカードの準備	8.5%
8. 補聴器の電池など日常生活に必要な用具に係る消耗品の備蓄	12.3%
9. 呼吸器等の電源確保のための非常用電源装置等の準備	2.1%
10. 簡易筆談器などコミュニケーション支援のための道具の準備	2.7%
11. 日ごろの近所づきあいや自治会・町会等の活動など地域との関わりを深める	16.1%
12. その他〔具体的に： 〕	4.7%

無回答  
むかいとう

14.2%

いりよう  
医療についておたずねします

問23 あなたは、入院したことがありますか。(1つに○)

(N=1,419)

- |                      |       |
|----------------------|-------|
| 1. ある →問23-1にお答えください | 77.2% |
| 2. ない →問24に進む        | 18.6% |
| 無回答                  | 4.2%  |

問23-1 問23で「1. ある」と答えた方におたずねします。

退院するにあたり困ったことはありましたか。(いくつでも○)

(n=1,096)

- |                      |       |                      |       |
|----------------------|-------|----------------------|-------|
| 1. 日常の介護者がいるか        | 16.1% | 7. 緊急時にすぐに助けにきてもらえるか | 19.4% |
| 2. 住宅が確保できるか         | 3.9%  | 8. 家族の理解が得られなかった     | 2.5%  |
| 3. 働く場があるか           | 10.0% | 9. 近隣の理解が得られなかった     | 1.0%  |
| 4. 十分な収入があるか         | 20.1% | 10. その他              | 15.5% |
| 5. 必要な支援や機能訓練が受けられるか | 13.0% | { 具体的に :             | }     |
| 6. 必要な医療が受けられるか      | 20.0% | 無回答                  | 29.7% |

問24 あなたは、現在、通院して医師の治療を受けていますか。(1つに○)

(N=1,419)

- |                     |   |       |
|---------------------|---|-------|
| 1. 自宅で往診や訪問看護を受けている | } | 2.4%  |
| 2. ときどき通院している       |   | 7.7%  |
| 3. 定期的に通院している       |   | 71.3% |
| 4. 治療は受けていない        | } | 8.2%  |
| 5. その他              |   | 1.2%  |
| { 具体的に :            |   | }     |
| 無回答                 |   | 9.2%  |

問24-1 問24で「1」、「2」、「3」と答えた方におたずねします。

通院などでお困りのことはありますか。(いくつでも○)

(n=1,155)

- |                                      |       |      |
|--------------------------------------|-------|------|
| 1. 通院するときに介助をしてくれる人がいない              | 4.8%  |      |
| 2. 専門的な治療を行う医療機関が身近にない               | 11.4% |      |
| 3. 専門的なりハビリができる機関が身近にない              | 7.0%  |      |
| 4. ちょっとした病気やけがのときに受け入れてくれる医療機関が身近にない | 7.1%  |      |
| 5. 気軽に往診を頼める医師がいない                   | 11.7% |      |
| 6. 歯医者を受診しにくい                        | 7.9%  |      |
| 7. 医療費や交通費の負担が大きい                    | 21.6% |      |
| 8. 特に困っていない                          | 49.4% |      |
| 9. その他 { 具体的に :                      | }     | 6.7% |
| 無回答                                  |       | 6.3% |

ちい き きょうせいしゃかい  
地域・共生社会についておたずねします

問25 あなたは、近隣に住む人と、どの程度おつきあいしていますか。(1つに〇)

(N=1,419)

- |    |                                |       |
|----|--------------------------------|-------|
| 1. | 個人的なことを相談し合える人がいる              | 7.6%  |
| 2. | さしさわりのないことなら、話せる人がいる           | 19.5% |
| 3. | 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる          | 34.9% |
| 4. | あいさつや会話は無いが、顔を見れば近隣の人だと分かる人がいる | 11.6% |
| 5. | 全く交流はなく、近隣に住む人を知らない            | 12.4% |
|    | 無回答                            | 14.0% |

問26 これからは、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、誰もが役割を持ち、活躍できる地域共生社会の実現が求められています。

①あなたは地域で次のようなことを頼みたいと思いますか。【地域で頼みたいこと】

②また、地域で次のようなことを頼まれたらできますか。

【地域で頼まれたらできること】

(N=1,419)

(1)～(8)について、①と②のそれぞれ1つに〇をつけてください。

	① 【地域で頼みたいこと】			② 【頼まれたらできること】		
	頼みたい・頼みたいと思っ たことがある	頼みたく ない	無回答	できる	できない	無回答
(1) 安否確認の声かけ	53.8%	23.5%	22.7%	52.3%	29.4%	18.3%
(2) ちょっとした買い物や ゴミ出し	23.6%	50.7%	25.7%	40.3%	40.2%	19.5%
(3) 食事や掃除・洗濯の手伝い	18.3%	56.0%	25.7%	23.2%	54.9%	21.9%
(4) 通院の送迎や外出の手助け	24.1%	49.6%	26.3%	19.7%	57.6%	22.7%
(5) 子どもの預かり	10.3%	51.9%	37.8%	15.9%	60.5%	23.6%
(6) 話し相手や相談相手	29.9%	42.6%	27.5%	38.7%	40.1%	21.2%
(7) 災害時避難の手助けの準備	42.6%	31.1%	26.3%	30.6%	47.3%	22.1%
(8) 具合がよくないときに、 病院等に連絡する	41.6%	32.1%	26.3%	43.0%	36.3%	20.7%

問27 あなたは、地域活動やボランティア活動、お住まいの地域の行事にどの程度参加していますか。(1つに〇)

(N=1,419)

1. よく参加している	} → 問27-1にお答えください	3.8%
2. 時々参加している		11.9%
3. あまり参加していない	} → 問27-2にお答えください	17.1%
4. まったく参加していない		60.8%
無回答		6.4%

問27-1 問27で「1」「2」と答えた方におたずねします。

どのような地域での活動やボランティアに参加していますか。

(いくつでも〇)

(n=223)

1. 子育て世帯や児童、青少年を支援する活動	7.6%
2. 高齢者を支援する活動	19.3%
3. 自分と同じ状況の仲間を支える活動	17.0%
4. 交通安全や防犯など地域の安全を守る活動	12.1%
5. 非行や犯罪をした人を支援する活動	2.2%
6. 地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動	23.8%
7. 国際交流に関する活動	4.9%
8. 防災訓練や自主防災組織への参加など災害時に備えるための活動	22.9%
9. スポーツ活動	22.0%
10. 音楽や絵画などの芸術活動	13.5%
11. 地域のお祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動	40.8%
12. その他〔具体的に：〕	13.5%
無回答	2.7%

問27-2 問27で「3」「4」と答えた方におたずねします。

活動や行事に参加していない理由は次のどれですか。(いくつでも〇)

(n=1,105)

1. 障害や病気で体調が良くないため	40.9%	9. 参加方法が分からない	16.2%
2. 興味のある活動がない	16.6%	10. バリアフリー環境や合理的配慮	
3. 活動に関する情報がない	19.4%	に不安がある	5.3%
4. メリットを感じない	6.4%	11. その他	9.4%
5. きっかけがない	24.3%	〔具体的に：〕	
6. 仕事や家事等で時間がない	17.6%		
7. 一緒に活動する仲間がいない	17.3%	12. 特にない	10.0%
8. 人間関係等がわずらわしい	18.6%	無回答	4.3%



問28 今後参加したい、継続して参加したい地域活動やボランティア活動は、次のどれですか。(いくつでも○)

(N=1,419)

- |  |       |
|--|-------|
| 1. 子育て世帯や児童、青少年を支援する活動                     | 7.4%  |
| 2. 高齢者を支援する活動                              | 11.3% |
| 3. 自分と同じ状況の仲間を支える活動                        | 21.9% |
| 4. 交通安全や防犯など地域の安全を守る活動                     | 7.4%  |
| 5. 非行や犯罪をした人を支援する活動                        | 2.1%  |
| 6. 地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動                  | 12.9% |
| 7. 国際交流に関する活動                              | 6.5%  |
| 8. 防災訓練や自主防災組織への参加など災害時に備えるための活動           | 10.5% |
| 9. スポーツ活動                                  | 13.0% |
| 10. 音楽や絵画などの芸術活動                           | 15.4% |
| 11. 地域のお祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動 | 15.7% |
| 12. その他〔具体的に： 〕                            | 5.7%  |
| 13. いずれも参加したくない                            | 25.8% |
| 無回答  | 16.3% |

問29 障害等のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支えあって暮らすことをめざす「共生社会（ノーマライゼーション）」という考え方がありますが、この「共生社会（ノーマライゼーション）」は府中市民に十分理解されていると思いますか。(1つに○)

(N=1,419)

- |                         |       |
|-------------------------|-------|
| 1. はい → 問30 へ進む         | 19.2% |
| 2. いいえ → 問29-1 にお答えください | 64.1% |
| 無回答                     | 16.7% |

問29-1 問29で「2. いいえ」と答えた方におたずねします。

どのようなことがあれば「理解されている」と思いますか。

(3つまで○)

(n=910)

- |                            |       |
|----------------------------|-------|
| 1. 特別な目で見ないこと              | 52.7% |
| 2. 自分のことを理解して受け入れができること    | 36.4% |
| 3. 自分がやりたいことへの手助けがあること     | 19.3% |
| 4. 思いやりのある声かけがあること         | 46.6% |
| 5. 無視せず、話を聞くこと             | 22.5% |
| 6. トイレや駅などを利用しやすくすること      | 30.5% |
| 7. 盲導犬などの補助犬や車いすでの入店ができること | 18.6% |
| 8. その他〔具体的に： 〕             | 5.9%  |
| 無回答                        | 4.3%  |

問30 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」では、「合理的配慮」として、国・地方公共団体や会社・お店など事業者に対して、障害等のある人からバリアを取り除く対応を求められた際に、対応することが求められています。

あなたは役所、会社、お店などに対し、どのような合理的配慮を必要としていますか。（いくつでも〇）

(N=1,419)

- |  |                |
|--|----------------|
| 1. 困っていると思われるときは、声をかけ、手伝いの必要性を確かめてから対応する   | 48.6%          |
| 2. 障害等のある人の歩行速度に合わせて案内したり、位置取りについて、希望を聞く   | 22.5%          |
| 3. 車いすの利用者が利用しやすいようカウンターの高さに配慮する           | 19.1%          |
| 4. 移動を手伝う（段差がある場合やエレベーターがない場合の上下移動の補助など）   | 24.3%          |
| 5. 障害等の特性により、頻繁に離席の必要がある場合に、会場の座席位置を扉付近にする | 17.5%          |
| 6. 音や肌触り、室温など感覚面の調整を行う                     | 11.2%          |
| 7. 疲労や緊張などに配慮し別室や休憩スペースを設ける                | 26.9%          |
| 8. 物の位置を分かりやすく伝える                          | 17.3%          |
| 9. 収納を手伝う（手の届きにくいところにあるものをとる、しまうなど）        | 12.9%          |
| 10. 障害等の特性に応じたコミュニケーション手段を用いる              | 25.5%          |
| 11. ゆっくりと短いことばや文章で、わかりやすく話しかける             | 27.0%          |
| 12. 漢字を少なくする、ルビを振るなどの配慮をする                 | 11.1%          |
| 13. 伝える情報を紙に書くなどして整理し、ゆっくり具体的に伝えることを心掛ける   | 19.5%          |
| 14. 障害や疾病等の特性を理解し、参加するための工夫をする             | 27.4%          |
| 15. その他〔具体的に： 〕                            | 3.1%           |
| 16. 分からない<br>無回答                           | 13.4%<br>18.9% |

問31 あなたは、地域の一員として、安心して自分らしい暮らしができていますか。

(N=1,419)

(1つに〇)

- |           |                |       |
|-----------|----------------|-------|
| 1. できている  | →問32へ進む        | 50.7% |
| 2. できていない | →問31-1にお答えください | 12.8% |
| 3. 分からない  | →問32へ進む        | 26.1% |
| 無回答       |                | 10.4% |

問31-1 問31で「2. できていない」と答えた方におたずねします。

地域の一員として、安心して自分らしい暮らしができていないと感じる理由は何ですか。（いくつでも〇）

(n=181)

- |                      |       |                   |       |
|----------------------|-------|-------------------|-------|
| 1. 地域の中に居場所がない       | 23.2% | 6. 診てもらえる医療機関がない  | 7.7%  |
| 2. 地域の中に頼れる友人・知人がいない | 60.2% | 7. 相談できる機関がない     | 16.0% |
| 3. 地域の中に余暇を楽しめる場所がない | 32.6% | 8. 生活を助けてくれる機関がない | 16.6% |
| 4. 希望する住まいが見つからない    | 12.7% | 9. その他            | 17.1% |
| 5. 希望する仕事が見つからない     | 17.7% | 〔具体的に： 〕          |       |
|                      |       | 無回答               | 5.0%  |

し さ く  
施策についておたずねします

問32 府中市は障害等のある人の施策について、どのようなことを充実させていけばよいと思いますか。次の項目の中から、優先順位の高いものを5つ、下記の  に番号を記入してください。

(N=1,419)

- |     |  |       |
|-----|--|-------|
| 1.  | 各種相談事業を充実すること  | 42.4% |
| 2.  | 障害等のある人が住宅を確保しやすくなるよう図ること                              | 29.1% |
| 3.  | 権利擁護事業や成年後見制度の取り組みの充実を図ること                             | 13.0% |
| 4.  | 障害等のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること                              | 39.4% |
| 5.  | ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実すること                          | 31.2% |
| 6.  | 利用できる通所施設を整備すること                                       | 26.6% |
| 7.  | 補装具・日常生活用具給付事業を充実すること                                  | 19.6% |
| 8.  | 外出時の移動支援サービスを充実すること                                    | 25.4% |
| 9.  | グループホームを充実すること   | 18.0% |
| 10. | 視覚・聴覚などの障害に配慮した情報提供を充実すること                             | 15.5% |
| 11. | 障害等のある人の自立生活をめざした取り組みが家庭・学校・地域で行われること                  | 24.0% |
| 12. | 障害等のある人や子どもに対する暴力や差別をなくすこと                             | 22.6% |
| 13. | 障害等のある人や子どもが受診しやすい医療体制を充実すること                          | 29.7% |
| 14. | 障害等のある人や子どものための短期入所を充実すること                             | 12.2% |
| 15. | 精神状態の不安定に対する支援の充実                                      | 22.1% |
| 16. | その他〔具体的に： <input style="width: 150px;" type="text"/> 〕 | 3.2%  |
| 17. | わからない  | 6.8%  |
|     | 無回答  | 8.7%  |

番号を1つ記入	番号を1つ記入	番号を1つ記入	番号を1つ記入	番号を1つ記入

問33 府中市の障害等のある人の施策、地域で暮らし続けるために必要なこと等に関して、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

きょうりょく  
——ご協力ありがとうございました——

ふちゅうししょうがいしゃけいかく ふちゅうししょうがいふくしけいかく  
**府中市障害者計画・府中市障害福祉計画**・  
 ふちゅうししょうがいじふくしけいかくさくてい ちょうさ  
**府中市障害児福祉計画策定のための調査**  
 こ そだ はったつ かん ちょうさ ねが  
**子どもの育ちや発達に関する調査についてのお願い**

しみん みな ひ せいはってん りかい きょうりよく あつ れいもう  
 市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

ふちゅうし みな ごいけん ごようぼう はばひろ おき れいわ ねん がつ さくてい よてい  
 府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、令和3年3月に策定を予定しております「府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画」の基礎資料とするために、調査を実施します。

この調査は、府中市にお住まいの18歳未満の身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費受給者証、児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証をお持ちの方の中から、1,000名を無作為に選ばせていただき、保護者の方にご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

れいわがねん がつ ふちゅうし  
 令和元年10月 府中市

きにゅう ねが  
**記入についてのお願い**

1. **封筒のあて名のお子さん**について、**保護者の方**がご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「お子さん」とは、封筒のあて名の方を指します。保護者の方の回答がむずかしい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただき、記入してください。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください  
の場合は回答内容等を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、[  ]内に具体的な答えを記入してください。

ちょうさひょう へんしんようふうとう じゅうしょ しめい きにゅう ひつよう  
 調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

きにゅう お ちょうさひょう どうふう へんしんようふうとう きって ひよう い  
 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

がつ にち げつ  
**11月11日（月）までに** ご返送ください。

ちょうさ しょうもん しょうご とう あ  
 調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

といあわ さき  
**【問合せ先】**

ふちゅうしふくしほけんふしょうがいしゃふくしか  
 府中市福祉保健部障害者福祉課 TEL 042-335-4545

# お知らせ

この調査の結果については、令和2年4月頃に府中市のホームページで公開する他、調査報告書を府中市役所障害者福祉課窓口等に設置いたします。ぜひ、ご覧ください。

## 府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画

### までのスケジュール

府中市障害者計画※1・府中市障害福祉計画※2・府中市障害児福祉計画※3は、この調査結果などを基礎資料とし、市民、学識経験者、障害者福祉団体等から構成された「府中市障害者計画推進協議会」で検討を進めながら策定します。

※1：障害者のための施策全般に関する基本的な考え方や方向性を定める6年間の計画

※2：障害福祉サービスの必要な量の見込み、その確保策等に関する3年間の実施計画

※3：障害児福祉サービスの必要な量の見込み、その確保策等に関する3年間の実施計画

令和2年3月 この調査も含めた調査報告書を取りまとめます。

令和2年4月頃 調査報告書を府中市のホームページで公開するとともに、各関係機関に設置します。

令和2年秋頃 計画についてパブリックコメントを実施します。

ここでいただいたご意見をもとに計画を再調整します。

令和3年3月 第5期府中市障害者計画・府中市障害福祉計画(第6期)・府中市障害児福祉計画(第2期)を策定します。

なお、現計画(第4期府中市障害者計画・府中市障害福祉計画(第5期)・障害児福祉計画(第1期))は、前回の皆様にご回答いただいたアンケートを基礎資料として策定し、府中市役所障害者福祉課窓口や中央図書館等にてご覧いただけます。

また、以下の府中市のホームページ(<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>)でもご覧いただけます。

#### ◆府中市障害者計画

府中市ホームページトップページ ⇒ 行政情報 ⇒ 施策・計画 ⇒ 健康福祉分野 ⇒ 府中市福祉計画 ⇒ 障害者計画・障害福祉計画(第4期)

#### ◆府中市障害福祉計画(第5期)・府中市障害児福祉計画(第1期)

府中市ホームページトップページ ⇒ 行政情報 ⇒ 施策・計画 ⇒ 健康福祉分野 ⇒ 府中市障害福祉計画・障害児福祉計画

※ 設問文における「お子さん」とは封筒のあて名のお子さんのことを指します。  
また、「あなた」とは記入者のことを指します。

F 1 記入される方とあて名のお子さん（以下、お子さん）との関係についておたずねします。（1つに〇）

(N=651)

1. 母親	89.5%	4. 祖母	0.5%
2. 父親	9.5%	5. その他〔具体的に：	0.2%
3. 祖父	0.0%	無回答	0.3%

F 2 お子さんはどちらにお住まいですか。（1つに〇）

\* 市内にお住まいの方は  内にも記入してください。

(N=651)

1. 市内 99.2% →  町  丁目
2. 市外 0.0%  
 無回答 0.8%

中央文化センター圏域	16.0%	是政文化センター圏域	8.2%
白糸台文化センター圏域	11.6%	紅葉丘文化センター圏域	9.1%
西府文化センター圏域	9.4%	押立文化センター圏域	2.9%
武蔵台文化センター圏域	5.4%	四谷文化センター圏域	5.4%
新町文化センター圏域	7.6%	片町文化センター圏域	10.2%
住吉文化センター圏域	11.3%	無回答	2.9%

あて名のお子さんについておたずねします

F 3 お子さんの性別と年齢をお答えください。（1つに〇）

\* 戸籍上の区別とは別にお子さんのお気持ちを踏まえて、ご記入ください。

(1) 性別

(N=651)

1. 男性	65.9%	2. 女性	33.5%
		無回答	0.6%

(2) 年齢 \* 平成31年4月1日現在の年齢でお答えください。

(N=651)

1. 乳児期（0～1歳）	0.5%	4. 小学校高学年（9～11歳）	21.4%
2. 幼児期（2～5歳）	26.9%	5. 中学生（12～14歳）	15.7%
3. 小学校低学年（6～8歳）	19.5%	6. 高校生（15～17歳）	15.2%
		無回答	0.8%

F 4 お子さんがお持ちの手帳または受給者証の種類ごとに、現在の程度に○をつけてください。

(N=651)

お持ちの手帳等の種類	現在の手帳の程度・受給状況					
	1級		2級		3級	
身体障害者手帳	1級	7.7%	2級	4.6%	3級	3.5%
	4級	2.5%	5級	0.8%	6級	0.9%
	無回答	80.0%				
愛の手帳	1度	1.1%	2度	14.7%	3度	11.7%
	4度	26.0%	無回答	46.5%		
精神障害者保健福祉手帳	1級	0.2%	2級	1.4%	3級	4.0%
	無回答	94.4%				
特定医療費受給者証	1. 受給している〔対象の疾病： 〕					2.5%
	2. 受給していない					18.6%
児童通所受給者証 ・障害福祉サービス受給者証	1. 受給している〔利用中のサービス： 〕					56.6%
	2. 受給していない					7.1%
					無回答	36.3%

F 5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。お子さんの身体障害者手帳に記載された項目は次のどれですか。(いくつでも○)

(N=651)

1. 視覚障害 0.6%
2. 聴覚障害 3.1%
3. 音声・言語・そしゃく・平衡機能障害 0.9%
4. 肢体不自由(上肢・下肢・体幹の障害) 14.1%
5. 内部障害(心臓・肝臓・腎臓・呼吸器・膀胱・直腸・小腸・免疫機能の障害) 4.6%
- 無回答 79.0%

F 6 お子さんの主な障害や疾病が生じたのは、いつごろですか。(1つに○)

(N=651)

- |                     |       |                 |      |
|---------------------|-------|-----------------|------|
| 1. 出生時(出生前を含む)      | 29.0% | 4. 中学校卒業後~17歳ころ | 0.3% |
| 2. 乳幼児期(0歳~小学校入学前)  | 57.7% | 5. 分からない        | 2.3% |
| 3. 学齢期(小学校入学~中学校卒業) | 6.9%  | 無回答             | 3.8% |

F 7 お子さんと同居\*している方はどなたですか。(いくつでも○)

\* 2世帯住宅は同居としてお答えください。

\* お子さんの父母の親族を含めてお答えください。

(N=651)

- |          |       |                |       |
|----------|-------|----------------|-------|
| 1. 母親    | 94.5% | 4. 兄弟、姉妹       | 60.1% |
| 2. 父親    | 84.6% | 5. 親族          | 0.8%  |
| 3. 祖父、祖母 | 7.8%  | 6. その他〔具体的に： 〕 | 1.2%  |
|          |       | 無回答            | 2.2%  |

# お子さんの通園・通学の状況についておたずねします

問1 お子さんは現在、保育所・保育園・幼稚園や学校に通っていますか。

(1つに〇)

(N=651)

1. 保育所・保育園・保育ルーム	10.4%
2. 幼稚園	8.8%
3. 特別支援学校幼稚部	0.3%
4. 公立小学校（通常の学級に在籍）	8.6%
5. 公立小学校（通級指導学級・特別支援教室も利用）	7.4%
6. 公立小学校（特別支援学級に在籍）	10.9%
7. 特別支援学校小学部	12.8%
8. 私立小学校	0.6%
9. 公立中学校（通常の学級に在籍）	3.4%
10. 公立中学校（通級指導学級も利用）	1.4%
11. 公立中学校（特別支援学級に在籍）	5.4%
12. 特別支援学校中学部	4.9%
13. 私立中学校	0.5%
14. 高等学校	3.1%
15. 特別支援学校高等部	11.5%
16. その他〔具体的に：	7.2%
17. どこにも通っていない	2.5%
無回答	0.3%

問1-1 問1で「1」～「16」と答えた方におたずねします。

お子さんの通園・通学で、困っていることはありますか。(1つに〇)

(n=633)

1. 通わせたい園・学校に空きがない	1.7%
2. 通園・通学の送迎が大変	16.0%
3. 通っている園・学校の対応が十分ではない	7.7%
4. 通っている園・学校が子どもに適しているのかわからない	8.7%
5. その他〔具体的に：	12.5%
6. 特にない	51.3%
無回答	2.1%



## お住まいについておたずねします

問2 あなた（記入者）のお住まいは次のうちどれですか。（1つに〇）

（N=651）

1. 持ち家の一戸建て	34.8%	6. グループホーム	0.0%
2. 持ち家の集合住宅	31.6%	7. その他	2.6%
3. 民間賃貸の一戸建て	1.5%	〔具体的に： 無回答〕	0.5%
4. 民間賃貸の集合住宅	22.1%		
5. 公営住宅、UR・公社の賃貸住宅	6.9%		

問3 お住まいについて何か困っていることがありますか。

（1）設計・設備について（いくつでも〇）（N=651）

1. 階段や段差に苦労する	7.4%
2. 浴室・トイレなどの家屋内の設備が不便	7.5%
3. 住宅が狭い・または十分な部屋がない	17.4%
4. 入り口や廊下のスペースが狭く移動がむずかしい	4.0%
5. 駐車場がない	4.1%
6. エレベーターがない	5.1%
7. 耐震補強ができていない	3.7%
8. その他〔具体的に：	〕 10.0%
9. 特に困っていない	61.8%
無回答	1.8%

（2）住宅事情について（いくつでも〇）（N=651）

1. 家賃が高い	17.2%
2. 駅から遠い、買物が不便など、立地が悪い	12.4%
3. 近隣に住む人との間に問題を抱えている	4.6%
4. お子さんが大きな声を出したり動き回っていることに、近隣から苦情を受けている	8.9%
5. 電車の音や人の声など騒音が気になる	4.5%
6. その他〔具体的に：	〕 10.6%
7. 特に困っていない	54.5%
無回答	1.7%

問4 お住まいに関する困りごとで、希望する支援は次のどれですか。（いくつでも〇）

（N=651）

1. 住宅設備を改善する工事費用の給付	22.1%
2. 家具転倒防止器具の支給	11.2%
3. 住宅費の助成	36.7%
4. 障害等や子どもの育ちや発達に対する不動産会社の理解促進	18.3%
5. 障害等のある人や発達が気になるお子さんに対する近隣住民の理解促進	42.5%
6. その他〔具体的に：	〕 5.7%
無回答	20.6%

にちじょうせいかつ  
日常生活についておたずねします

問5 お子さんは、日常生活において障害や疾病などがあるために何らかの介助を受けていますか。(1つに〇)

(N=651)

- |           |                       |       |
|-----------|-----------------------|-------|
| 1. 受けている  | →問5-1、5-2、5-3にお答えください | 37.0% |
| 2. 受けていない | →問6へ進む                | 61.5% |
| 無回答       |                       | 1.5%  |

問5-1 問5で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

(1) 介助をしている人はどなたですか。(いくつでも〇)

(n=241)

- |       |       |                                     |       |
|-------|-------|-------------------------------------|-------|
| 1. 母親 | 91.3% | 5. 近所の人                             | 1.2%  |
| 2. 父親 | 63.5% | 6. ボランティア                           | 0.0%  |
| 3. 祖父 | 6.6%  | 7. 公的なサービス(福祉サービス)                  | 54.8% |
| 4. 祖母 | 15.8% | 8. その他〔具体的に： <input type="text"/> 〕 | 10.8% |
|       |       | 無回答                                 | 0.4%  |

(2) 主に介助している人はどなたですか。

((1)の選択肢から1つだけ  の中に記入してください)

主な介助者

(n=241)

- |       |       |                                     |      |
|-------|-------|-------------------------------------|------|
| 1. 母親 | 88.0% | 5. 近所の人                             | 0.8% |
| 2. 父親 | 2.1%  | 6. ボランティア                           | 0.0% |
| 3. 祖父 | 0.0%  | 7. 公的なサービス(福祉サービス)                  | 2.1% |
| 4. 祖母 | 0.8%  | 8. その他〔具体的に： <input type="text"/> 〕 | 0.8% |
|       |       | 無回答                                 | 5.4% |

問5-2 問5で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

お子さんは、障害や疾病などの支援として公的なサービス（例：ホームヘルプ・訪問看護）による介助を1週間のうち何日ぐらい受けていますか。（1つに○）

(n=241)

1. 毎日	2.5%	4. 週に1日	13.3%
2. 週に4～6日	30.7%	5. 受けていない	36.1%
3. 週に2～3日	12.4%	無回答	5.0%

問5-3 問5で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

お子さんは、障害や疾病などの支援として家族・親族・ボランティア（公的なサービスを除く）の介助を1週間のうち何日ぐらい受けていますか。

(n=241)

(1つに○)

1. 毎日	52.3%	4. 週に1日	3.3%
2. 週に4～6日	4.1%	5. 受けていない	19.5%
3. 週に2～3日	4.6%	無回答	16.2%

## 福祉サービスの利用についておたずねします

問6 お子さんの福祉サービスの利用状況・利用意向について、おたずねします。(1)～(15)のそれぞれについて、「1」～「7」にいくつでも〇をつけてください。

(N=651)	利用できている	希望通りの	希望通りではない	利用しているが 事業所に空きがない	利用したいが がない	今後、利用したい	利用したくない	分からない	無回答
(1) <b>居宅介護（ホームヘルプ）</b> 自宅で、食事・排せつ・入浴の介護など、日常生活上の支援を行うサービス	2.9%	2.6%	0.6%	1.4%	10.6%	26.6%	27.0%	29.2%	
(2) <b>同行援護</b> 視覚障害により、移動に著しい困難を有する障害等のある人の外出に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護などを提供するサービス	0.3%	0.0%	0.3%	0.8%	3.4%	28.6%	32.7%	33.9%	
(3) <b>行動援護</b> 知的障害・精神障害により行動に著しい困難のある人に、行動の際の危険回避、その他の支援を行うサービス	0.9%	1.1%	2.5%	1.7%	16.6%	20.3%	28.4%	29.3%	
(4) <b>短期入所（ショートステイ）</b> 自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、食事・排せつ・入浴の介護などを提供するサービス	3.2%	3.7%	4.8%	3.1%	20.3%	20.9%	20.3%	26.0%	
(5) <b>児童発達支援</b> 障害のある児童（療育の必要な児童）に日常生活における基本的動作の指導、自活に必要な知識や技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を行うサービス	21.7%	7.2%	3.8%	4.9%	16.1%	8.1%	18.9%	21.7%	
(6) <b>医療型児童発達支援</b> 障害のある児童（療育の必要な児童）に日常生活における基本的動作の指導、自活に必要な知識や技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を行うとともに治療を提供するサービス	4.1%	2.8%	2.3%	3.8%	16.0%	15.5%	26.9%	29.8%	
(7) <b>放課後等デイサービス</b> 就学児に学校授業終了後や休業日に生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進など多様なメニューを提供するサービス	36.9%	12.6%	6.1%	3.5%	21.0%	6.1%	9.5%	8.6%	

次ページの(8)～(15)にもお答えください

(N=651)	利用できている	希望通り	希望通りではない	利用しているが	利用したいが 事業所に空気がない	利用したい事業所がない	今後、利用したい	利用したくない	分からない	無回答
(8) 保育所等訪問支援 障害児施設で指導経験のある児童指導員や保育士が、保育所などを2週間に1回程度訪問し、障害児や保育所などのスタッフに対し、障害児が集団生活に適応するための専門的な支援を行うサービス	0.8%	0.3%	1.8%	1.5%	10.9%	18.3%	34.7%	32.3%		
(9) 居宅訪問型児童発達支援 重度の障害等により外出が困難な障害児に対し、居宅において児童発達支援を行うサービス	0.2%	0.2%	0.8%	0.8%	3.5%	27.0%	33.0%	34.9%		
(10) 障害児相談支援 障害児通所支援を利用する前に障害児支援利用計画を作成し、通所支援開始後、一定期間ごとにモニタリングを行う等のサービス	14.6%	2.0%	4.0%	2.2%	17.2%	10.1%	25.7%	25.2%		
(11) 移動支援 ガイドヘルパーが、同行し、移動の手助けや交通機関の利用の補助などの外出をサポートするサービス	4.5%	4.8%	4.6%	1.8%	24.4%	14.6%	23.5%	24.3%		
(12) 日中一時支援 障害等のある人の日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図る事業	1.8%	1.7%	2.8%	4.3%	28.7%	13.5%	22.7%	26.0%		
(13) 意忠疎通支援 手話通訳者、要約筆記者の派遣を行うサービス	0.2%	0.2%	0.5%	0.6%	2.2%	27.5%	33.9%	35.5%		
(14) 補装具費の支給・日常生活用具費の給付 義足や車いすなどの補装具、日常生活用具の費用を支給・給付するサービス	8.9%	4.6%	0.3%	0.6%	6.0%	21.7%	27.2%	30.9%		
(15) 子ども発達支援センターあゆの子 外来グループ 発達に気になる未就学の児童を対象に、親子グループ活動・併行通園のグループ活動・市内保育所等との連携などを行うサービス	9.7%	2.8%	1.1%	0.3%	7.1%	19.4%	29.5%	30.6%		

問6-1は、問6の(1)～(15)で1つでも「1」「2」と答えた方におたずねします。

すべて「3」～「7」と答えた方は問7へお進みください。

問6-1 福祉サービスについて、満足していますか。(1つに○)

(n=525)

1. 満足	→問7へ進む	24.2%	3. やや不満	→問6-2にお答えください	26.7%
2. やや満足		36.0%	4. 不満		5.9%
			無回答		7.2%

問6-2 問6-1で「3」「4」と答えた方におたずねします。

福祉サービスの不満な理由はどれですか。(いくつでも○)

(n=171)

- |                      |       |                   |       |
|----------------------|-------|-------------------|-------|
| 1. サービス支給量が少ない       | 35.1% | 7. サービス内容が分かりにくい  | 22.8% |
| 2. 相談先が少ない           | 33.9% | 8. サービスの情報が入手しにくい | 41.5% |
| 3. 希望する事業者や施設が見つからない | 43.9% | 9. その他            | 39.8% |
| 4. 緊急時に利用できない        | 40.9% | 〔具体的に：            | 〕     |
| 5. 費用負担が大きい          | 17.5% | 無回答               | 1.2%  |
| 6. 利用方法が分かりにくい       | 23.4% |                   |       |

お子さんの育ちや発達の状態についておたずねします

問7 あなた(記入者)はお子さんの育ちや発達について、気になったことはありますか。初めて気になった時期についてお答えください。(1つに○)

(N=651)

- |             |       |               |      |
|-------------|-------|---------------|------|
| 1. 0歳～2歳    | 69.5% | 4. 中学校〔 〕年生   | 0.5% |
| 2. 3歳～就学前   | 20.7% | 5. 高等学校〔 〕年生  | 0.2% |
| 3. 小学校〔 〕年生 | 5.8%  | 6. 気になったことはない | 2.5% |
|             |       | 無回答           | 0.8% |

問8 あなた(記入者)はお子さんの育ちや発達について、次の人・相談機関等に相談したことはありますか。(いくつでも○)

(N=651)

- |                    |       |                        |       |
|--------------------|-------|------------------------|-------|
| 1. 家族・親族           | 75.4% | 10. 児童相談所              | 18.1% |
| 2. 友人・知人           | 47.2% | 11. 市役所(保健センター等も含む)    | 40.1% |
| 3. 保育園・幼稚園・学校      | 57.8% | 12. 東京都の保健所            | 4.5%  |
| 4. お子さんと同じ状況の子がいる人 | 43.2% | 13. 東京都立の療育機関          | 43.2% |
| 5. 民生・児童委員         | 2.2%  | 14. 医療機関(東京都立の療育機関を除く) | 48.7% |
| 6. 児童館             | 1.8%  | 15. その他                | 11.2% |
| 7. 子ども家庭支援センター     | 15.1% | 〔具体的に：                 | 〕     |
| 8. 子ども発達支援センターあゆのこ | 46.9% |                        |       |
| 9. 地域生活支援センター      | 6.1%  | 16. どこにも相談していない →問9へ進む | 0.9%  |
|                    |       | 無回答                    | 0.2%  |

問8-1 問8で「1」～「15」のいずれかを選んだ方におたずねします。  
相談をしたことで、どのような効果がありましたか。(いくつでも〇)

(n=644)

- |                               |        |
|-------------------------------|--------|
| 1. 話を聞いてもらって気持ちが楽になった         | 53.1%  |
| 2. 具体的な対応方法を考えることができた         | 64.4%  |
| 3. 適切な相談機関・医療機関を紹介してもらった      | 56.1%  |
| 4. 家族で子どものことについて話し合う時間が増えた    | 34.0%  |
| 5. 支援を受けて子どもが成長した             | 53.0%  |
| 6. 様々な情報をもらい、子育ての役に立った        | 47.0%  |
| 7. 同じ悩みを持つ保護者と知り合い、共感することができた | 50.2%  |
| 8. その他〔具体的に：                  | 〕 4.7% |
| 9. 特に変化はない                    | 5.3%   |
| 無回答                           | 1.1%   |

問9 あなた(記入者)はお子さんの育ちや発達について、医療機関で診断を受けましたか。(1つに〇)

(N=651)

- |              |       |     |      |
|--------------|-------|-----|------|
| 1. 診断を受けた    | 90.3% | 無回答 | 2.5% |
| 2. 診断を受けていない | 7.2%  |     |      |

問10 あなた(記入者)は、障害等のある人や育ちや発達が気になる子に関する府中市内の次の相談機関等を知っていますか。((1)～(5)について、それぞれ1つに〇)

(N=651)	知っている、利用している	知っているが、利用していない	知らないが、今後利用したい	知らないが、利用したくない・利用予定はない	知らない・無回答
(1) 地域生活支援センター(みな、あけほの、プラザ、ふらっと) 地域で生活する障害等のある人やご家族に対し、生活全般の相談、サービス利用、当事者相談などを行っています。	15.5%	42.5%	17.4%	21.5%	3.1%
(2) 子ども発達支援センター あゆの子 ことばが遅い、落ち着きがない、友達と遊べないなど、子どもの育児や発達のことで気になっている方や悩んでいる方に対し発達相談を行っています。	38.6%	35.8%	3.7%	19.0%	2.9%
(3) 身体障害者相談員・知的障害者相談員 身体障害、知的障害のある人の相談に応じ、必要な援助を行うため、市内に相談員が配置されています。	1.2%	16.3%	32.6%	45.8%	4.1%
(4) 聴覚障害者相談事業 相談や申請などで市役所に来庁した聴覚障害のある人の手話通訳を行います。	0.0%	9.5%	2.6%	79.5%	8.4%
(5) 障害児相談支援事業所 障害福祉サービス等の利用の開始や継続に際して、障害等のある人やご家族からの相談を行っています。	10.1%	14.6%	35.9%	34.9%	4.5%

問11 あなた（記入者）は、お子さんの育ちや発達へのライフステージに合わせた切れ目のない支援として、次のうちどのようなことを希望されますか。（いくつでも〇）

(N=651)

- |  |        |
|--|--------|
| 1. 乳幼児期から高等学校・特別支援学校高等部卒業まで一貫して相談・支援を受け続けられること | 68.7%  |
| 2. 入学・進学などのタイミングでお子さんへの支援情報が途切れないこと            | 68.7%  |
| 3. 入学・進学などのタイミングに合わせて、関係する支援機関の紹介を受けられること      | 64.7%  |
| 4. お子さんに関わる教育、保健、医療、福祉など関係機関の連携が強化されること        | 69.1%  |
| 5. 不安なことなどがあったときに支援機関へとつないでくれる専門の職員がいること       | 61.1%  |
| 6. 子どものライフステージに合わせた保護者支援が行われること                | 62.8%  |
| 7. その他〔具体的に：                                   | 〕 8.4% |
| 8. 分からない                                       | 2.0%   |
| 無回答  | 0.8%   |

問12 あなた（記入者）は、将来、お子さんにどのようなところで働いてほしいと考えていますか。（1つに〇）

(N=651)

- |                              |        |
|------------------------------|--------|
| 1. 会社やお店などで働く（一般就労）          | 57.4%  |
| 2. 地域の障害者施設（作業所など）で働く（福祉的就労） | 17.2%  |
| 3. その他〔具体的に：                 | 〕 6.9% |
| 4. 分からない                     | 12.1%  |
| 5. 働くことは困難だと思う               | 5.8%   |
| 無回答                          | 0.6%   |

防災についておたずねします

問13 災害時に困ること・不安なことは何ですか。（いくつでも〇）

(N=651)

- |                                 |        |
|---------------------------------|--------|
| 1. 避難所まで避難できるか心配                | 40.9%  |
| 2. 市の緊急速報メールを受信できるか分からない        | 7.7%   |
| 3. お子さんのことを人に伝えて、うまく支援を受けられるか不安 | 44.1%  |
| 4. 避難を支援してくれる人がいない              | 19.4%  |
| 5. 災害や避難に関する情報が得られるか心配          | 14.3%  |
| 6. 障害等のある人に配慮した避難所があるのか分からない    | 55.0%  |
| 7. 大勢の人の中での避難所生活に不安がある          | 67.7%  |
| 8. 医療を受けられるか分からない               | 17.7%  |
| 9. 呼吸器等に使用する非常用電源を利用できるか分からない   | 5.1%   |
| 10. 障害等のある人向けの防災マニュアル、防災マップがない  | 26.3%  |
| 11. 避難場所が分からない                  | 5.4%   |
| 12. その他〔具体的に：                   | 〕 9.4% |
| 無回答                             | 9.4%   |



問14	災害時に備えて、心だんからどのようなことを行っていますか。		
	(N=651)	(いくつでも○)	
1.	防災グッズ(非常用食料、飲料水等)の準備	73.7%	
2.	家具の固定、ガラス拡散対策	38.6%	
3.	貴重品・常備薬等をすぐ持ち出せるよう準備	26.1%	
4.	避難場所・ルートの確認	45.2%	
5.	防災訓練への参加	15.8%	
6.	災害時要援護者登録の対象になる場合、その登録	2.0%	
7.	緊急連絡先や支援の方法を記載した防災手帳やヘルプカードの準備	9.2%	
8.	補聴器の電池など日常生活に必要な用具に係る消耗品の備蓄	9.5%	
9.	呼吸器等の電源確保のための非常用電源装置等の準備	1.8%	
10.	簡易筆談器などコミュニケーション支援のための道具の準備	0.8%	
11.	日ごろの近所づきあいや自治会・町会等の活動など地域との関わりを深める	18.3%	
12.	その他〔具体的に：	〕	2.2%
	無回答	4.9%	

問15	地震などの災害が発生したときに、避難所で配慮してほしいことは何ですか。		
	(N=651)	(いくつでも○)	
1.	段差がない、手すりのあるトイレなどの施設のバリアフリー	13.1%	
2.	文字や音声など複数の情報伝達手段があること	10.8%	
3.	手話などのコミュニケーション手段の確保	2.9%	
4.	個室、間仕切り(パーティション)などでの対応が可能であること	70.8%	
5.	相談窓口や介助スタッフがいること	39.0%	
6.	アレルギー対応食や介護食、離乳食などの確保	14.6%	
7.	医療や医薬品の確保	32.7%	
8.	配給などに並ぶことができない場合の支援	42.1%	
9.	他の避難者のお子さんへの理解	53.5%	
10.	その他〔具体的に：	〕	6.3%
11.	特にない	6.8%	
12.	わからない	3.7%	
	無回答	1.7%	

問16	災害に備えて、市民や企業等が行政と協働で取り組むとよいと思うものはどのようなことですか。(いくつでも○)		
	(N=651)		
1.	地域住民同士の声かけや安否確認	49.0%	
2.	住民たちで行う防災組織の活動の充実	18.4%	
3.	地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実	22.9%	
4.	地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成	33.6%	
5.	地域住民を対象とした防災講習会・学習会の開催	15.5%	
6.	小・中学校の防災教育・訓練の充実	44.1%	
7.	府中市災害時要援護者名簿登録届兼緊急災害医療情報キットの申込みの推進	24.9%	
8.	地域内外の団体等との日ごろからの交流	14.7%	
9.	商店や会社による場の提供や備蓄品の提供など	53.3%	
10.	その他〔具体的に：	〕	2.8%
	無回答	7.2%	

医療・医療的ケアについておたずねします

問17 お子さんは、日常的に何らかの医療・医療的ケアを必要としていますか。障害者手帳所持の有無に関わらずお答えください。(1つに〇)

(N=651)

- |             |                     |       |
|-------------|---------------------|-------|
| 1. 必要としている  | →問17-1、17-2にお答えください | 24.9% |
| 2. 必要としていない | →問18へ進む             | 73.1% |
| 無回答         |                     | 2.0%  |

問17-1 問17で「1. 必要としている」とお答えの方におたずねします。現在、お子さんはどのような医療・医療的ケアを受けていますか。

(n=162)

(いくつでも〇)

- |                 |       |                      |       |
|-----------------|-------|----------------------|-------|
| 1. 人工呼吸器管理      | 6.2%  | 8. 経管栄養              | 16.0% |
| 2. 気管内挿管、気管切開   | 9.3%  | (経鼻・胃ろう・腸ろう・腸管栄養を含む) |       |
| 3. 酸素吸入         | 8.0%  | 9. 継続する透析(腹膜灌流を含む)   | 0.0%  |
| 4. 経鼻咽喉頭エアウェイ管理 | 0.0%  | 10. 定期導尿             | 3.1%  |
| 5. 痰などの吸引       | 16.7% | 11. 人工肛門             | 0.6%  |
| 6. ネブライザー       | 15.4% | 12. 服薬管理             | 75.9% |
| 7. 中心静脈栄養       | 0.6%  | 13. その他〔具体的に: 〕      | 13.6% |
|                 |       | 無回答                  | 3.7%  |

問17-2 問17で「1. 必要としている」とお答えの方におたずねします。お子さんの医療・医療的ケアにあたって、困りごとはありますか。

(n=162)

(いくつでも〇)

- |                    |       |                         |       |
|--------------------|-------|-------------------------|-------|
| 1. 在宅での医療的ケアがたいへん  | 8.6%  | 9. 訪問看護ステーションがない        | 1.2%  |
| 2. 通院などの移動がたいへん    | 31.5% | 10. 困った時の相談先が分からない      | 7.4%  |
| 3. 長時間の介助がたいへん     | 14.8% | 11. 医療的ケアに関する情報が少ない     | 11.7% |
| 4. 休日・夜間の介助がたいへん   | 16.0% | 12. 家族への支援が少ない          | 22.2% |
| 5. 医療的ケアの費用負担が大きい  | 10.5% | 13. 成人後に受診できる医療機関があるか不安 | 32.1% |
| 6. 通園・通学先の受け入れが難しい | 12.3% | 14. その他                 | 10.5% |
| 7. 緊急時・急変時の対応が難しい  | 21.6% | 〔具体的に: 〕                |       |
| 8. 身近に対応可能な医療機関がない | 6.8%  | 無回答                     | 20.4% |

地域・共生社会についておたずねします

問18 障害等のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支えあって暮らすことをめざす「共生社会(ノーマライゼーション)」という考え方がありますが、この「共生社会(ノーマライゼーション)」は府中市民に十分理解されていると思いますか。(1つに〇)

(N=651)

- |       |         |       |        |                |       |
|-------|---------|-------|--------|----------------|-------|
| 1. はい | →問19へ進む | 11.2% | 2. いいえ | →問18-1にお答えください | 87.6% |
|       |         |       | 無回答    |                | 1.2%  |

問18-1 問18で「2. いいえ」と答えた方におたずねします。

どのようなことがあればお子さんが「理解されている」と思いますか。

	(n=570)	(3つまで〇)
1. お子さんを特別な目で見ないこと		45.3%
2. お子さんのことを理解して受け入れができること		64.7%
3. お子さんがやりたいことへの手助けがあること		34.0%
4. お子さんへの思いやりのある声かけがあること		34.9%
5. お子さんが話すことを無視せず、話を聞くこと		23.7%
6. トイレや駅などを利用しやすくすること		20.7%
7. 盲導犬などの補助犬や車いすでの入店ができること		9.1%
8. お子さんが大きな声を出したり動き回っても、嫌な顔をされないこと		45.3%
9. その他〔具体的に： 〕		5.8%
無回答		1.6%

問19 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」では、「合理的配慮」として、国・地方公共団体や会社・お店など事業者に対して、障害等のある人からバリアを取り除く対応を求められた際に、対応することが求められています。

役所、保育所・保育園・幼稚園、学校、会社、お店などで、どのような合理的配慮があればよいと思いますか。（いくつでも〇）

	(N=651)
1. お子さんや主たる養育者の方が、困っていると思われるときは、声をかけ、手伝いの必要性を確かめてから対応する	54.2%
2. お子さんの歩行速度に合わせて案内したり、位置取りについて、お子さんの希望を聞く	22.6%
3. 車いすなどを利用しているお子さんが利用しやすいよう机の高さなどに配慮する	25.2%
4. 移動を手伝う（段差がある場合やエレベーターがない場合の上下移動の補助など）	28.7%
5. 障害や疾病等の特性に応じて、教室や会場の座席の位置を決める	37.5%
6. 音や肌触り、室温など感覚面の環境調整を行う	29.2%
7. お子さんの疲労や緊張などに配慮し別室や休憩スペースを設ける	51.6%
8. 物の位置を分かりやすく伝える	30.0%
9. 収納を手伝う（手の届きにくいところにあるものをとる、しまうなど）	18.4%
10. 障害等の特性に応じたコミュニケーション手段を用いる	48.5%
11. ゆっくりと短いことばや文章で、わかりやすく話しかける	51.3%
12. 漢字を少なくする、ルビを振るなどの配慮をする	22.7%
13. 伝える情報を紙に書くなどして整理し、ゆっくり具体的に伝えることを心掛ける	36.7%
14. 障害や疾病等の特性を理解し、参加するための工夫をする	50.5%
15. その他〔具体的に： 〕	6.0%
16. 分からない	2.6%
無回答	3.5%

問20 あなた（記入者）は、地域がお子さんの成長を支えてくれていると感じますか

(N=651) (1つに〇)

1. とても感じる	8.8%	3. あまり感じない	40.2%
2. まあ感じる	38.1%	4. 全く感じない	12.0%
		無回答	0.9%

## 施策についておたずねします

問21 市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度は、次のうちどれですか。

(1つに〇)

(N=651)

1. 満足	} → 問22へ進む	4.9%	3. やや不満	} → 問21-1にお答えください	36.1%
2. やや満足		42.7%	4. 不満 無回答		8.8%

問21-1 問21で「3」「4」と答えられた方におたずねします。バリアフリー環境の整備状況に不満な理由は次のうちどれですか。(いくつでも〇)

(n=292)

1. 建物の出入口や通路に段差があったり、幅が狭いこと	59.2%
2. 公共施設や病院等にスロープ、エレベーターやエスカレーターがないこと	26.0%
3. 誰もが使いやすいトイレの設置が不十分	47.9%
4. 道路に障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)が多いこと	39.7%
5. 点字ブロック・視覚障害者用信号の設置が不十分	10.3%
6. 電車・バスなどへの乗車が困難	28.1%
7. 駐車場がない	31.8%
8. 標識や案内がわかりにくい	15.8%
9. お子さんに配慮したコミュニケーションがされていない	32.5%
10. 盲導犬などの補助犬や車いすでの入室が配慮された店・レストランが少ない	15.4%
11. 介助者の確保が難しい	17.1%
12. その他〔具体的に： 〕	11.3%
無回答	0.0%

問22 府中市は障害等のある人や育ちや発達が気になるお子さんの施策について、どのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(重要なものに5つまで〇)

(N=651)

- |  |       |
|--|-------|
| 1. 各種相談事業を充実すること                             | 38.7% |
| 2. 障害等のある人が住宅を確保しやすくなるよう図ること                 | 18.7% |
| 3. 権利擁護事業や成年後見制度の取り組みの充実を図ること                | 16.9% |
| 4. 障害等のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること                 | 57.1% |
| 5. ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実すること             | 14.4% |
| 6. 利用できる通所施設を整備すること                          | 40.7% |
| 7. 補装具・日常生活用具給付事業を充実すること                     | 10.3% |
| 8. 外出時の移動支援サービスを充実すること                       | 19.4% |
| 9. グループホームを充実すること                            | 22.1% |
| 10. 視覚・聴覚などの障害に配慮した情報提供を充実すること               | 5.5%  |
| 11. ライフステージに合わせた、切れ目のない支援をすること               | 58.7% |
| 12. 障害等のある人の自立生活をめざした取り組みが家庭・学校・地域で行われること    | 39.8% |
| 13. 障害等のある人や育ちや発達が気になるお子さんに対する暴力や差別をなくすこと    | 32.1% |
| 14. 障害等のある人や育ちや発達が気になるお子さんが受診しやすい医療体制を充実すること | 41.2% |
| 15. 障害等のある人や育ちや発達が気になるお子さんのための短期入所を充実すること    | 18.4% |
| 16. 精神状態の不安定に対する支援の充実                        | 15.8% |
| 17. その他〔具体的に： 〕                              | 6.3%  |
| 18. 分からない                                    | 1.5%  |
| 無回答  | 1.8%  |

問23 府中市の障害等のある人や育ちや発達が気になるお子さんの施策、地域で暮らし続けるために必要なこと等に関して、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

16ページ以降は、お子さんの保護者の方についての質問がございます。

続けてご回答ください。

お子さんを主に養育している人についておたずねします

問24 お子さんを主に養育している人はどなたですか。(1つに〇)

(N=651)

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 1. 母親               | 82.6%        |
| 2. 父親               | 15.1%        |
| 3. その他〔具体的に：<br>無回答 | 1.2%<br>1.1% |

問25 主に養育している人の年齢を教えてください。(1つに〇)

(N=651)

- |           |      |           |       |           |       |
|-----------|------|-----------|-------|-----------|-------|
| 1. 19歳以下  | 4.6% | 4. 30~34歳 | 6.9%  | 7. 50~59歳 | 14.1% |
| 2. 20~24歳 | 0.5% | 5. 35~39歳 | 19.8% | 8. 60歳以上  | 1.4%  |
| 3. 25~29歳 | 0.6% | 6. 40~49歳 | 51.0% | 無回答       | 1.1%  |

問26 主に養育している人の就労状況等を教えてください。(1つに〇)

(N=651)

- |                                |                       |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 自営業                         | 5.7%                  |
| 2. 正規雇用(正社員等)                  | 24.1%                 |
| 3. 非正規雇用(契約社員、嘱託社員、パート・アルバイト等) | 32.7%                 |
| 4. その他〔具体的に：<br>無回答            | 1.4%<br>34.4%<br>1.7% |

問27 世帯の収入源と、年収についておたずねします。年収は、税金などを差し引く前の額でお答えください。年金、手当、生活保護費、親族からの援助もすべて含みます。

(1) 世帯の収入源(いくつでも〇)

(N=651)

- |                     |       |                     |              |
|---------------------|-------|---------------------|--------------|
| 1. 母親の仕事の収入         | 45.3% | 5. 生活保護費            | 2.8%         |
| 2. 父親の仕事の収入         | 87.1% | 6. 親族からの援助          | 2.6%         |
| 3. 各種手当             | 26.4% | 7. その他〔具体的に：<br>無回答 | 1.7%<br>1.8% |
| 4. 国民年金・厚生年金・障害基礎年金 | 2.8%  |                     |              |

(2) 世帯の年収(1つに〇)

(N=651)

- |                    |       |                      |               |
|--------------------|-------|----------------------|---------------|
| 1. 200万円未満         | 6.1%  | 6. 600万円以上~700万円未満   | 12.7%         |
| 2. 200万円以上~300万円未満 | 5.7%  | 7. 700万円以上~800万円未満   | 11.5%         |
| 3. 300万円以上~400万円未満 | 6.6%  | 8. 800万円以上~900万円未満   | 8.1%          |
| 4. 400万円以上~500万円未満 | 9.7%  | 9. 900万円以上~1,000万円未満 | 6.5%          |
| 5. 500万円以上~600万円未満 | 14.4% | 10. 1,000万円以上<br>無回答 | 11.5%<br>7.2% |

問28 主に養育している人は、近隣に住む人と、どの程度おつきあいしていますか。  
(1つに〇)

(N=651)

- |                                   |       |
|-----------------------------------|-------|
| 1. 個人的なことを相談し合える人がいる              | 20.7% |
| 2. さしさわりのないことなら、話せる人がいる           | 30.4% |
| 3. 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる          | 34.5% |
| 4. あいさつや会話は無いが、顔を見れば近所の人だと分かる人がいる | 8.0%  |
| 5. 全く交流はなく、近隣に住む人を知らない            | 4.9%  |
| 無回答                               | 1.5%  |

問29 主に養育している人は、ご自身の悩みや困りごとを相談できる人がいますか。  
(1つに〇)

- |                       |       |                 |       |
|-----------------------|-------|-----------------|-------|
| 1. いる → 問29-1にお答えください | 87.7% | 2. いない → 問30へ進む | 10.8% |
|                       |       | 無回答             | 1.5%  |

問29-1 問29で「1. いる」と答えた方におたずねします。次の人・相談機関等に相談しますか。(いくつでも〇)

(n=571)

- |                       |       |
|-----------------------|-------|
| 1. 家族・親族              | 85.6% |
| 2. 友人・知人              | 68.0% |
| 3. 保育園・幼稚園・学校         | 38.7% |
| 4. お子さんと同じ状況の子どもがいる人  | 52.9% |
| 5. 民生・児童委員            | 0.4%  |
| 6. 児童館                | 0.0%  |
| 7. 子ども家庭支援センター        | 6.0%  |
| 8. 子ども発達支援センターあゆの子    | 11.7% |
| 9. 地域生活支援センター         | 2.5%  |
| 10. 障害児通所施設・サービス提供事業所 | 19.6% |
| 11. 相談支援事業所           | 6.5%  |
| 12. 児童相談所             | 2.6%  |
| 13. 市役所(保健センター等も含む)   | 8.8%  |
| 14. 東京都の保健所           | 0.5%  |
| 15. 東京都立の療育機関         | 27.1% |
| 16. 医療機関(東京都立の療育機関除く) | 23.1% |
| 17. その他〔具体的に：         | 6.7%  |
| 無回答                   | 0.4%  |

問30 育ちや発達が気になるお子さんに関して、養育の負担感やストレスを軽減させるために、主に養育している人が重要だと考えることは何ですか。次の項目の中から、優先順位の高いものを3つ、下記の  に番号を記入してください。

(N=651)

- |  |       |
|--|-------|
| 1. 日中、一時的にお子さんを預かってくれるサービス                   | 26.9% |
| 2. 数日間、お子さんを預かってくれるサービス                      | 12.4% |
| 3. お子さんの世話のために、十分に手が回らない家事などへのサポート           | 8.0%  |
| 4. お子さんを自宅や近所で介助してくれるサービス                    | 4.3%  |
| 5. 育ちや発達が気になるお子さんの兄弟姉妹に対するサポート               | 10.8% |
| 6. 育ちや発達が気になるお子さんを持つ養育者同士が交流し、情報交換などを行うこと    | 15.4% |
| 7. 主に養育している人自身が趣味、学習、就労など、社会的活動に参加すること       | 13.8% |
| 8. お子さんが将来、主に養育している人の手を離れても生活できるという見通しを持つこと  | 59.6% |
| 9. 主に養育している人以外の家族が、もっとお子さんの世話に参加してくれること      | 5.5%  |
| 10. お子さんの世話のために生じる経済的な負担が軽減されること             | 26.9% |
| 11. お子さんの障害に対する正しい知識や、向きあい方を学ぶ機会を充実すること      | 11.7% |
| 12. お子さんの育ちや発達について何でも気軽に相談でき、適切なアドバイスをもらえる機関 | 26.9% |
| 13. 療育や教育の体制を充実すること                          | 37.3% |
| 14. 学童クラブなど放課後活動を充実すること                      | 10.1% |
| 15. 医療機関のサービス（通院、対応等）が充実すること                 | 14.3% |
| 16. その他〔具体的に： <input type="checkbox"/> 〕     | 3.7%  |
| 無回答  | 3.8%  |

番号を1つ記入	番号を1つ記入	番号を1つ記入

——ご協力ありがとうございました——



# 府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・ 府中市障害児福祉計画策定のための調査 障害者福祉団体調査についてのお願い

皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、令和3年3月に策定を予定しております「府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画」の基礎資料とするために、調査を実施します。

この調査は、府中市の障害福祉団体にご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容は、「府中市個人情報保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和元年10月 府中市

## 記入についてのお願い

1. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
2. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。  
の場合は回答内容等を記入してください。
3. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
4. 「その他」に○印をつけられた方は、〔 〕内に具体的な答えを記入してください。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

**11月11日（月）までに**ご返送ください。

調査についてご質問等がありましたら、次までお問い合わせください。

### 【問合せ先】

府中市福祉保健部障害者福祉課 TEL 042-335-4545

# お知らせ

この調査の結果については、令和2年4月頃に府中市のホームページで公開する他、調査報告書を府中市役所障害者福祉課窓口等に設置いたします。ぜひ、ご覧ください。

## 府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画 までのスケジュール

府中市障害者計画<sup>※1</sup>・府中市障害福祉計画<sup>※2</sup>・府中市障害児福祉計画<sup>※3</sup>は、この調査結果等を基礎資料とし、市民、学識経験者、障害者福祉団体等から構成された「府中市障害者計画推進協議会」で検討を進めながら策定します。

※1：障害者のための施策全般に関する基本的な考え方や方向性を定める6年間の計画

※2：障害福祉サービスの必要な量の見込み、その確保策等に関する3年間の実施計画

※3：障害児福祉サービスの必要な量の見込み、その確保策等に関する3年間の実施計画

令和2年3月 この調査も含めた調査報告書を取りまとめます。

令和2年4月頃 調査報告書を府中市のホームページで公開するとともに、各関係機関に設置します。

令和2年秋頃 計画についてパブリックコメントを実施します。

ここでいただいたご意見をもとに計画を再調整します。

令和3年3月 第5期府中市障害者計画・府中市障害福祉計画(第6期)・府中市障害児福祉計画(第2期)を策定します。

なお、現計画(第4期府中市障害者計画・府中市障害福祉計画(第5期)・障害児福祉計画(第1期))は、前回の皆様にご回答いただいたアンケートを基礎資料として策定し、府中市役所障害者福祉課窓口や中央図書館等にてご覧いただけます。

また、以下の府中市のホームページ(<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>)でもご覧いただけます。

### ◆府中市障害者計画

府中市ホームページトップページ ⇒ 行政情報 ⇒ 施策・計画 ⇒ 健康福祉分野  
⇒ 府中市福祉計画 ⇒ 障害者計画・障害福祉計画(第4期)

### ◆府中市障害福祉計画(第5期)・障害児福祉計画(第1期)

府中市ホームページトップページ ⇒ 行政情報 ⇒ 施策・計画 ⇒ 健康福祉分野  
⇒ 府中市障害福祉計画・障害児福祉計画

## 貴団体についておたずねします

問1 貴団体の名称、連絡先等についておたずねします。

団体名		
代表者氏名		
事務所等住所		〒183- 府中市
連絡先	TEL	
	FAX	
	Email	
ホームページ URL		

問2 貴団体の令和元年9月1日時点の会員数、運営に携わっている人数を記入してください。

(N=8)

会員数 平均 54.8 人

運営に携わっている人数 平均 7.6 人

問3 貴団体の活動拠点は決まっていますか。(1つに〇)

(N=8)

- |                         |       |
|-------------------------|-------|
| 1. 決まっている →問3-1にお答えください | 88.9% |
| 2. 決まっていない →問4へ進む       | 11.1% |
| 無回答                     | 0.0%  |

問3-1 問3で「1. 決まっている」と答えた方におたずねします。  
活動拠点はどこですか。具体的にお書きください。

問4 貴団体の運営にかかる経費の収入源は何ですか。次の項目の中から、収入が多いものから順に、 へ番号を記入してください。

(それぞれ番号を1つ記入)

(N=8)

最も収入が多いもの	
2番目に収入が多いもの	
3番目に収入が多いもの	

	最も多いもの	2番目	3番目
1. 市からの補助金	12.5%	62.5%	0.0%
2. 市以外からの補助金〔具体的に：           〕	0.0%	0.0%	25.0%
3. 寄付金	12.5%	0.0%	12.5%
4. 会員からの会費	75.0%	12.5%	12.5%
5. 事業収入〔具体的に：           〕	0.0%	0.0%	12.5%
6. その他〔具体的に：           〕	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	25.0%	37.5%

問5 貴団体の活動に関わる現在の会員の充足状況についておたずねします。

(1) 現在の会員数は活動を進めるうえで足りていますか。(1つに○)

(N=8)

1. 活動を進めるうえで十分な人数がいる	0.0%
2. 活動を進めるうえでは問題ないが、やや不足している	62.5%
3. 会員が不足し、活動に支障が出ている	37.5%
4. 会員が不足し、活動を継続するか検討している	0.0%
無回答	0.0%

(2) 今後の会員数の充実について、どのように考えていますか。(1つに○)

(N=8)

1. 積極的に増やしていきたい	} 問5-1にお答えください	25.0%
2. 増やしていきたい		50.0%
3. 現状を維持していきたい	} 問6へ進む	25.0%
4. 特に考えていない		0.0%
無回答		0.0%

問5-1 問5で「1」または「2」と回答された方におたずねします。

貴団体では、会員を増やすために何か取り組みを行っていますか。

(n=6)

(1つに○)

1. 行っている	→問5-2にお答えください	100.0%
2. 行っていない	→問6へ進む	0.0%
無回答		0.0%

問5-2 問5-1で「1. 行っている」と回答された方におたずねします。  
貴団体では、どのような取り組みを行っていますか。

--

問6 活動するうえで困っていることはありますか。(いくつでも○)

(N=8)

1. 事業の企画	25.0%
2. 運営方法	0.0%
3. 活動場所の確保	37.5%
4. 会員の意識	25.0%
5. 後継者問題	87.5%
6. 社会の認識	37.5%
7. ネットワークづくり	12.5%
8. 行政支援	0.0%
9. 財政的支援	50.0%
10. 人的支援	37.5%
11. その他〔具体的に： <span style="float: right;">]</span>	12.5%
12. 特にない	0.0%
無回答	0.0%

### 貴団体の相談支援体制についておたずねします

問7 貴団体では、障害者福祉に関する市の相談体制についてどのようなことを望んでおられますか。

### 災害時の支援についておたずねします

問8 震災等の災害時に、障害等のある人々が安心して過ごせるために、どのような支援が必要だとお考えですか。避難所の問題、救出方法の問題等、どのようなことでもけっこうですのでご記入ください。

### 制度の谷間にある方への支援についておたずねします

問9 現状では、障害等のあるすべての人が必要なサービスを受けられる制度になっていません。障害者福祉制度の谷間にある方々に対する支援としてどのようなことが必要とお考えですか。

地域共生社会づくりに向けた協力意向についておたずねします

問 10 平成28年度に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」にて、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、だれもが役割を持ち、活躍できる地域共生社会の実現が求められています。

地域共生社会の実現に向けて、府中市民にもっと意識を持ってもらうようにするには、貴団体としてどのようなことができますか。

問 11 地域共生社会の実現に向けて、府中市民に意識を持ってもらう取り組みのほかに、団体として何か協力できることはありますか。

## 障害福祉施策についておたずねします

問 12 平成28年度4月より「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行され、国・地方公共団体等は「不当な差別的取扱いの禁止」「合理的配慮の提供」が法的に義務付けられています。なお、「合理的配慮の提供」については、平成30年10月施行の東京都条例下において民間事業者も義務化されました。

貴団体は障害等のある人への合理的配慮として、特に必要だと思うことは何ですか。また、合理的配慮の好事例がございましたら、合わせてお書きください。

問 13 府中市では、府中市福祉のまちづくり計画や障害者計画等に基づいて、市内におけるバリアフリー施策を推進しています。

貴団体は府中市のバリアフリー施策に関して、どのようなことを期待しますか。

問 14 府中市の障害等のある人の施策に関して、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

——— ご協力ありがとうございました ———



# 府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・ 府中市障害児福祉計画策定のための調査

## 障害福祉サービス事業所調査についてのお願い

皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、令和3年3月に策定を予定しております「府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画」の基礎資料とするために、調査を実施します。

この調査は、府中市内の障害福祉サービス事業所にご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容は、「府中市個人情報の保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和元年10月 府中市

### 記入についてのお願い

1. 各質問に対し、**調査対象となっている事業（宛名ラベル記載）**について回答してください。ただし、事業所単位、法人単位で回答いただきたい質問は、質問文の中で指定しています。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。  
の場合は回答内容等を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、[ ]内に具体的な答えを記入してください。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

**11月11日（月）までに**ご返送ください。

調査についてご質問等がありましたら、次までお問い合わせください。

#### 【問合せ先】

府中市福祉保健部障害者福祉課 TEL 042-335-4545

# おしらせ

この調査の結果については、令和2年4月頃に府中市のホームページで公開する他、調査報告書を府中市役所障害者福祉課窓口等に設置いたします。ぜひ、ご覧ください。

## 府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画 までのスケジュール

府中市障害者計画<sup>※1</sup>・府中市障害福祉計画<sup>※2</sup>・府中市障害児福祉計画<sup>※3</sup>は、この調査結果等を基礎資料とし、市民、学識経験者、障害者福祉団体等から構成された「府中市障害者計画推進協議会」で検討を進めながら策定します。

※1：障害者のための施策全般に関する基本的な考え方や方向性を定める6年間の計画

※2：障害福祉サービスの必要な量の見込み、その確保策等に関する3年間の実施計画

※3：障害児福祉サービスの必要な量の見込み、その確保策等に関する3年間の実施計画

令和2年3月	この調査も含めた調査報告書を取りまとめます。
令和2年4月頃	調査報告書を府中市のホームページで公開するとともに、各関係機関に設置します。
令和2年秋頃	計画についてパブリックコメントを実施します。 ここでいただいたご意見をもとに計画を再調整します。
令和3年3月	第5期府中市障害者計画・府中市障害福祉計画(第6期)・府中市障害児福祉計画(第2期)を策定します。

なお、現計画（第4期府中市障害者計画・府中市障害福祉計画（第5期）・障害児福祉計画（第1期））は、前回の皆様にご回答いただいたアンケートを基礎資料として策定し、府中市役所障害者福祉課窓口や中央図書館等にてご覧いただけます。

また、以下の府中市のホームページ（<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>）でもご覧いただけます。

### ◆府中市障害者計画

府中市ホームページトップページ ⇒ 行政情報 ⇒ 施策・計画 ⇒ 健康福祉分野  
⇒ 府中市福祉計画 ⇒ 障害者計画・障害福祉計画（第4期）

### ◆府中市障害福祉計画（第5期）・障害児福祉計画（第1期）

府中市ホームページトップページ ⇒ 行政情報 ⇒ 施策・計画 ⇒ 健康福祉分野  
⇒ 府中市障害福祉計画・障害児福祉計画

## 貴事業所の概要についておたずねします

問1 貴事業所の活動状況についてお教えてください。

(1) 貴事業所の名称等についてお教えてください。

事業所名			
所在地	〒		
ホームページ	1. あり ( ) 2. なし		
担当者名		部 署	
電話番号			
FAX番号			
Eメール			

(2) 活動状況についてお教えてください。

① 組織形態 (1つに○)

(N=201)

1. 社会福祉法人	26.9%	6. 医療法人	1.5%
2. 社会福祉協議会	4.0%	7. 株式会社	31.2%
3. 福祉公社・事業団	0.0%	8. 有限会社	6.5%
4. 社団法人	4.0%	9. NPO	20.4%
5. 財団法人	0.0%	10. その他〔具体的に：	2.0%
		無回答	3.5%

② 貴事業所において実施しているすべての事業（調査対象となっている事業含む）  
（いくつでも〇）

(N=201)

1. 居宅介護	41.8%	17. グループホーム	10.0%
2. 重度訪問介護	37.3%	18. 計画相談支援	20.9%
3. 同行援護	15.4%	19. 地域移行支援	10.0%
4. 行動援護	2.5%	20. 地域定着支援	10.0%
5. 重度障害者等包括支援	1.0%	21. 移動支援	26.4%
6. 生活介護	9.0%	22. 地域活動支援センター	9.0%
7. 自立訓練（機能訓練）	0.0%	23. 日中一時支援	2.0%
8. 自立訓練（生活訓練）	0.0%	24. 児童発達支援	7.0%
9. 就労移行支援	4.5%	25. 医療型児童発達支援	1.0%
10. 就労継続支援（A型）	0.0%	26. 訪問型児童発達支援	0.0%
11. 就労継続支援（B型）	13.9%	27. 福祉型障害児入所支援	0.0%
12. 就労定着支援	4.5%	28. 医療型障害児入所支援	0.0%
13. 療養介護	0.0%	29. 放課後等デイサービス	12.4%
14. 短期入所	2.5%	30. 障害児相談支援	13.9%
15. 自立生活援助	0.0%	31. 保育所等訪問支援	1.0%
16. 施設入所支援	2.0%	32. その他〔具体的に： 〕	3.0%
		無回答	1.5%

③調査対象となっている事業

（②の選択肢の中から1つ枠内にご記入ください）

調査対象事業	

(N=201)

1. 居宅介護	14.1%	17. グループホーム	6.5%
2. 重度訪問介護	12.4%	18. 計画相談支援	7.5%
3. 同行援護	4.5%	19. 地域移行支援	2.5%
4. 行動援護	0.0%	20. 地域定着支援	3.0%
5. 重度障害者等包括支援	0.0%	21. 移動支援	9.0%
6. 生活介護	5.0%	22. 地域活動支援センター	2.5%
7. 自立訓練（機能訓練）	0.0%	23. 日中一時支援	0.5%
8. 自立訓練（生活訓練）	0.0%	24. 児童発達支援	4.0%
9. 就労移行支援	2.5%	25. 医療型児童発達支援	0.5%
10. 就労継続支援（A型）	1.0%	26. 訪問型児童発達支援	0.0%
11. 就労継続支援（B型）	8.0%	27. 福祉型障害児入所支援	0.0%
12. 就労定着支援	1.5%	28. 医療型障害児入所支援	0.0%
13. 療養介護	0.0%	29. 放課後等デイサービス	8.5%
14. 短期入所	1.0%	30. 障害児相談支援	4.5%
15. 自立生活援助	0.0%	31. 保育所等訪問支援	0.5%
16. 施設入所支援	0.5%	32. その他〔具体的に： 〕	0.0%
		無回答	0.0%

(3) 調査対象となっている事業の定員数と利用者数を記入してください。

(令和元年9月1日現在)

(N=201)

現行の定員数	平均 16.47 人	現行の利用人数	平均 19.72 人
--------	------------	---------	------------

(4) 現在、実施していない事業について教えてください。

①上記の(2)②の選択肢の中で、事業として必要性を感じているが、現在実施していない事業は何ですか。必要性を感じている順に下記の欄に番号を記入してください。(それぞれ番号を1つ記入)

最も必要性を感じている 実施していない事業 (番号を1つ記入)	2番目に必要性を感じている 実施していない事業 (番号を1つ記入)	3番目に必要性を感じている 実施していない事業 (番号を1つ記入)

(N=201)

	最も必要性を 感じている事業	2番目	3番目
1. 居宅介護	0.0%	0.0%	0.5%
2. 重度訪問介護	3.5%	5.0%	1.0%
3. 同行援護	7.5%	1.0%	0.5%
4. 行動援護	0.0%	10.0%	3.5%
5. 重度障害者等包括支援	3.0%	0.0%	2.5%
6. 生活介護	6.0%	1.0%	7.0%
7. 自立訓練(機能訓練)	0.0%	0.0%	1.5%
8. 自立訓練(生活訓練)	0.5%	1.5%	0.0%
9. 就労移行支援	1.0%	0.5%	1.5%
10. 就労継続支援(A型)	2.0%	1.5%	0.0%
11. 就労継続支援(B型)	1.0%	4.0%	1.5%
12. 就労定着支援	2.0%	0.0%	0.0%
13. 療養介護	0.0%	0.0%	0.0%
14. 短期入所	0.5%	3.5%	4.0%
15. 自立生活援助	4.0%	0.5%	0.0%
16. 施設入所支援	3.0%	0.5%	0.0%
17. グループホーム	7.0%	6.5%	5.0%
18. 計画相談支援	6.0%	3.0%	2.5%
19. 地域移行支援	0.0%	1.5%	0.0%
20. 地域定着支援	2.0%	0.0%	1.5%
21. 移動支援	3.5%	1.0%	5.5%
22. 地域活動支援センター	1.0%	0.0%	0.0%
23. 日中一時支援	3.0%	1.0%	4.5%
24. 児童発達支援	1.5%	2.5%	0.5%
25. 医療型児童発達支援	0.0%	0.5%	0.0%
26. 訪問型児童発達支援	1.0%	0.0%	0.5%
27. 福祉型障害児入所支援	0.0%	0.0%	1.0%
28. 医療型障害児入所支援	1.0%	0.0%	0.0%
29. 放課後等デイサービス	0.5%	1.5%	0.0%
30. 障害児相談支援	4.5%	4.5%	0.5%
31. 保育所等訪問支援	2.0%	0.5%	0.0%
32. その他〔具体的に： 無回答	0.0%	0.0%	0.5%
	33.0%	48.5%	54.5%

② 現在、実施されていない理由として近いものは、次のうちどれですか。

(N=201)

(いくつでも○)

- |                       |       |
|-----------------------|-------|
| 1. サービスに見合う収益が見込めないため | 36.3% |
| 2. 十分な利用者が見込めないため     | 8.0%  |
| 3. 利用者のニーズ把握ができていないため | 8.5%  |
| 4. 初期負担の投資金額が大きいため    | 26.4% |
| 5. 人材の確保・育成が難しいため     | 61.2% |
| 6. 随時対応の体制整備が難しいため    | 13.4% |
| 7. 関連機関との連携が見通せないため   | 1.0%  |
| 8. その他〔具体的に： 〕        | 7.0%  |
| 無回答                   | 23.9% |

問2 今後、具体的にどのくらいのサービス提供量を考えていますか。現時点での考えをご記入ください。人数は現行人数(問1(3))を基準に記入してください。

(1) 調査対象となっている事業についてご記入ください。

(N=201)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
今後の提供量の見込み	平均 18.98 人	平均 19.59 人	平均 21.17 人	平均 22.01 人	平均 22.50 人

(2) 法人として回答してください。新規で開始する予定の事業がある場合、ご記入ください。実施が決定しているもののほか、検討中の事業も記入ください。

	事業名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1		人	人	人	人	人
2		人	人	人	人	人
3		人	人	人	人	人
4		人	人	人	人	人
5		人	人	人	人	人

問3 貴事業所の利用者で、ボランティア団体等が行う見守りや家事等のインフォーマルなサービスを希望されている方はいらっしゃいますか。

インフォーマルなサービスの希望状況やどのようなことを希望されているか、差支えない範囲でご自由にお書きください。

## 今後の事業運営についておたずねします

問4 お差支えなければ事業所、法人それぞれお答えください。  
昨年度の事業の採算はいかがでしたか。

(1) 事業所 (1つに〇)

(N=201)

1. 黒字	29.9%	4. その他	2.0%
2. 赤字	40.7%	〔具体的に：	〕
3. 損益はない	18.9%	無回答	8.5%

(2) 法人 (1つに〇)

(N=201)

1. 黒字	28.9%	4. その他	1.0%
2. 赤字	39.3%	〔具体的に：	〕
3. 損益はない	19.9%	無回答	10.9%

問5 事業所または法人としてご回答ください。  
運営上の不安は次のうちどれですか。(いくつでも〇)

(N=201)

〔回答する立場に〇：	1. 事業所 61.7%	2. 法人 24.4%	無回答 13.9%
	【事業所 (n=124)】	【法人 (n=49)】	
1. サービスに見合う収益が見込めるか	62.9%	67.3%	
2. 十分な利用者が見込めるか	17.7%	14.3%	
3. 他施設と競合しないかどうか	4.0%	0.0%	
4. 初期負担の投資金額が大きいこと	4.0%	20.4%	
5. 人材の確保・育成	85.5%	93.9%	
6. 有資格者の不足	37.1%	38.8%	
7. 特に不安はない	0.0%	2.0%	
8. その他〔具体的に：	4.0%	2.0%	
無回答	1.6%	0.0%	

問6 事業所または法人としてご回答ください。  
サービスを実施するうえで問題があると考えているのは、どのようなことですか。

(N=201)

〔回答する立場に〇：	1. 事業所 63.1%	2. 法人 27.9%	無回答 9.0%
	【事業所 (n=127)】	【法人 (n=56)】	
1. 専門職の確保が難しい	59.8%	46.4%	
2. 人材の確保が難しい	85.8%	80.4%	
3. 経営経費・活動資金が不足している	39.4%	42.9%	
4. 報酬が実態にそぐわない	57.5%	50.0%	
5. 利用希望者が多く受け入れが難しい	37.0%	23.2%	
6. 施設規模の面でさらなる利用者の受け入れが難しい	13.4%	25.0%	
7. 利用者に対する情報提供が難しい	3.9%	1.8%	
8. 利用者ニーズの把握が困難である	4.7%	0.0%	
9. 情報の入手や活用のしかたが十分ではない	2.4%	1.8%	
10. 行政や施設間の連携が十分ではない	7.9%	16.1%	
11. その他〔具体的に：	7.9%	1.8%	
12. 特に問題はない	0.0%	0.0%	

無回答

0.0%

1.8%

問7 事業所または法人としてご回答ください。

人材確保に向けての課題は、どのようなことですか。(いくつでも○)

(N=201)

〔回答する立場に○： 1. 事業所 60.2% 2. 法人 30.3% 無回答 9.5%〕

【事業所 (n=121)】

【法人 (n=61)】

1. 採用に向けた採用戦略・方針が明確になっていない	28.1%	21.3%
2. 採用に向けた経営経費・活動資金が不足している	47.1%	44.3%
3. 求職者とのマッチングが難しい	55.4%	52.5%
4. 長期定着に向けた取り組みが十分にできていない	23.1%	11.5%
5. 処遇改善や働きやすい環境の整備が十分にできていない	28.9%	13.1%
6. 求人・求職情報の発信先が少ない	24.8%	11.5%
7. 仕事のやりがいや魅力を十分に発信できていない	15.7%	14.8%
8. その他〔具体的に： 〕	6.6%	1.6%
9. 特に問題はない	0.0%	1.6%
無回答	0.8%	3.3%

問8 対象となっている事業についてお答えください。

貴事業所では、今後5年のうちに対象となっている事業の事業規模を拡大する予定はありますか。(1つに○)

(N=201)

1. 拡大予定	14.9%	3. 縮小予定	2.5%
2. 現状維持	50.7%	4. 検討中・分からない	26.9%
		無回答	5.0%

問9 対象となっている事業についてお答えください。

今後5年間で府中市の利用者をさらに受け入れる余裕がありますか。

(N=201)

(1つに○)

1. ある( 8.82人程度 )	39.8%
2. ない	30.3%
3. その他〔具体的に： 〕	22.9%
無回答	7.0%

## 利用者本位のしくみについておたずねします

問10 事業所または法人としてご回答ください。

利用者の権利擁護について実施していることはありますか。(いくつでも○)

(N=201)

〔回答する立場に○： 1. 事業所 62.7% 2. 法人 22.4% 無回答 14.9%〕

【事業所 (n=126)】

【法人 (n=45)】

1. 弁護士等との連携(成年後見制度)	23.0%	11.1%
2. 社会福祉協議会との連携(地域福祉権利擁護事業)	34.9%	15.6%
3. 第三者・オンブズマン等から求めに応じ必要な情報を開示する	23.0%	26.7%
4. その他第三者機関の利用〔具体的に： 〕	18.3%	4.4%
5. 担当者(窓口)の設置	70.6%	68.9%
6. その他〔具体的に： 〕	5.6%	15.6%
7. 特にない	7.9%	15.6%
無回答	0.0%	2.2%



問 11 事業所または法人としてご回答ください。

貴施設では苦情・意見等を取り入れるため、どのような工夫をしていますか。

(N=201)

(いくつでも○)

〔回答する立場に○： 1. 事業所 74.6% 2. 法人 20.9% 無回答 4.5%〕

【事業所 (n=150)】 【法人 (n=42)】

1. 利用者・家族との面談を行う	72.7%	81.0%
2. 保護者会・懇談会等を行う	16.7%	26.2%
3. 意見箱を設置している	23.3%	14.3%
4. アンケートを実施している	28.0%	31.0%
5. 連絡帳を利用している	34.7%	28.6%
6. その他〔具体的に： 〕	7.3%	0.0%
7. 特にない	6.0%	7.1%
無回答	4.0%	0.0%

問 12 事業所として回答してください。サービスの質の向上を図るために、第三者評価が重要になっています。第三者評価を実施しましたか。(1つに○)

(N=201)

1. 実施した、実施している	} →問 13 へ進む	26.9%
2. 実施していないが、実施の予定		15.9%
3. 実施の予定はない	→問 12-1 にお答えください	55.2%
無回答		2.0%

問 12-1 問 12 で「3. 実施の予定はない」と答えた事業所におたずねします。  
その理由はつぎのうちどれですか。(1つに○)

(n=111)

1. 費用がかかりすぎる	34.2%
2. メリットが分からない	22.5%
3. その他〔具体的に： 〕	40.6%
無回答	2.7%

問 13 事業所として回答してください。本市においても福祉施設職員や家族による虐待の事例が報告されています。貴事業所において、障害のある人の虐待防止に向けて取り組んでいることを選んでください。(いくつでも○)

(N=201)

1. 虐待防止マニュアルやチェックリストを作成している	84.6%
2. 虐待防止委員会を設置している	64.7%
3. 職員に対する虐待防止に関する研修や学習を実施している	89.1%
4. 職員の虐待防止に関する意識・関心を高めるための掲示物等を掲示している	68.7%
5. 虐待防止に関する責任者を定めている	77.6%
6. 虐待事案の発生時の対応方法等を具体的に文章化している	50.2%
7. 障害等のある人やその家族、地域の人等に対し虐待の防止に関する普及・啓発を実施している	22.4%
8. 地域における虐待防止について、事業者間の連携を図っている	23.4%
9. 地域における虐待防止について、相談支援事業所、障害者等地域自立支援協議会や行政機関等との連携・協力をしている	26.9%
10. その他〔具体的に： 〕	5.0%
11. 特にない	0.5%
無回答	4.0%

問 14 事業所として回答してください。貴事業所がサービス提供するうえで、実際に虐待等の場面に遭遇したなどの経験はありますか。(〇は1つ)

(N=201)

- |          |                  |       |
|----------|------------------|-------|
| 1. 経験がある | →問 14-1 にお答えください | 18.4% |
| 2. 経験はない | →問 15 に進む        | 79.6% |
| 無回答      |                  | 2.0%  |

問 14-1 問 14 で「1. 経験がある」と答えた事業所におたずねします。  
差支えなければお答えください。遭遇した事例の内容とその際にどのような対応をされたかお書きください。

**地域共生社会づくりに向けた協力意向についておたずねします**

問 15 事業所または法人としてご回答ください。

平成28年度に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」にて、支えて側と受け手側に分かれるのではなく、だれもが役割を持ち、活躍できる地域共生社会の実現が求められています。

地域共生社会の実現に向けて、府中市民にもっと意識を持ってもらうようにするには、貴事業所または法人としてどのようなことができますか。

(N=201)

〔回答する立場に〇： 1. 事業所 53.7% 2. 法人 19.9% 無回答 26.4%〕



問 16 事業所または法人としてご回答ください。

地域共生社会の実現に向けて、府中市民に意識を持ってもらう取り組みのほかに、貴事業所または法人として何か協力できることはありますか。

(N=201)

〔回答する立場に〇： 1. 事業所 50.2% 2. 法人 21.9% 無回答 27.9%〕

問 17 事業所として回答してください。災害時に事業所として協力できることはありますか。(いくつでも〇)

(N=201)

- |                             |        |
|-----------------------------|--------|
| 1. 在宅サービス利用者への安否確認          | 57.2%  |
| 2. 在宅の災害時要援護者の避難支援への協力      | 22.4%  |
| 3. 施設を福祉避難所として活用することへの協力    | 20.9%  |
| 4. 障害等のある人の避難場所へのヘルパー等人材の協力 | 13.9%  |
| 5. その他〔具体的に：                | 〕 6.0% |
| 無回答                         | 15.9%  |

**貴施設が特に力を入れていることについておたずねします**

問 18 事業所として回答してください。貴事業所が、最も力を入れている点についてお書きください。

問 19 事業所として回答してください。貴事業所が、利用者に対して、特に力を入れていることをお書きください。

### 市への要望についておたずねします

問 20 事業所または法人としてご回答ください。  
 これからの府中市の障害福祉サービスの充実に向けて、どのようなことが必要だと思えますか。(いくつかでも○)

(N=201)

〔回答する立場に○： 1. 事業所 64.7% 2. 法人 18.4% 無回答 16.9%〕

	【事業所 (n=130)】	【法人 (n=37)】
1. 各種生活支援サービスの基盤整備	45.4%	29.7%
2. 地域生活に移行するための住まいの整備	43.1%	24.3%
3. 緊急時・災害時に障害者を支援する体制の整備	70.8%	45.9%
4. 障害等のある人とその家族が安心して暮らせるための相談体制	46.9%	54.1%
5. 障害等のある人が安定的に就労するためのシステムづくり	48.5%	29.7%
6. 障害者福祉と保健・医療との連携	46.2%	48.6%
7. 小規模施設の経営支援	26.9%	40.5%
8. 共生にむけた地域社会の理解の促進	34.6%	35.1%
9. 人材確保のための取り組み	70.0%	78.4%
10. 専門職の育成、確保のための各種支援策	60.8%	40.5%
11. 成年後見制度や地域福祉権利擁護事業等の権利擁護のしくみづくり	27.7%	10.8%
12. その他〔具体的に：                          〕	6.2%	8.1%
無回答	0.8%	2.7%

問 21 事業所または法人としてご回答ください。

障害福祉サービスについてのご要望について、ご自由にお書きください。

(N=201)

〔回答する立場に○： 1. 事業所 45.3% 2. 法人 11.4% 無回答 43.3%〕

問 22 事業所として回答してください。利用者やその家族から寄せられた要望について、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——